

iStorage

NS20/NS20P/NS21P/NS22P[NF8100-115]/NS130
(ボリューム変更手順書)

目次

1章	ISTORAGE NS20/NS20P/NS21P/NS22P[NF8100-115]の場合	3
1.1	セットアップの準備	3
1.2	ストライプボリュームへ変更	4
1.2.1	ストライプボリュームへの変更時の注意	4
1.2.2	ストライプボリュームへ変更	4
1.3	ストライプボリュームからミラーボリュームへ変更	9
1.3.1	ストライプボリュームからミラーボリュームへの変更時の注意	9
1.3.2	ストライプボリュームからミラーボリュームへ変更	9
1.4	シンプルボリュームへ変更	14
1.4.1	シンプルボリュームへの変更時の注意	14
1.4.2	シンプルボリュームへ変更(1)	14
1.4.3	シンプルボリュームへ変更(2)	16
1.5	シンプルボリュームからミラーボリュームへ変更	22
1.5.1	シンプルボリュームからミラーボリュームへの変更時の注意	22
1.5.2	シンプルボリュームからミラーボリュームへ変更	22
2章	ISTORAGE NS130の場合	29
2.1	セットアップの準備	29
2.2	ストライプボリュームへ変更	30
2.2.1	ストライプボリュームへの変更時の注意	30
2.2.2	ストライプボリュームへ変更	30
2.3	ストライプボリュームからミラーボリュームへ変更	38
2.3.1	ストライプボリュームからミラーボリュームへの変更時の注意	38
2.3.2	ストライプボリュームからミラーボリュームへ変更	38
2.4	シンプルボリュームへ変更	46
2.4.1	シンプルボリュームへの変更時の注意	46
2.4.2	シンプルボリュームへ変更	46
2.5	シンプルボリュームからミラーボリュームへ変更	50
2.5.1	シンプルボリュームからミラーボリュームへの変更時の注意	50
2.5.2	シンプルボリュームからミラーボリュームへ変更	50
3章	注意事項	58
3.1	再インストールについて	58

はじめに

iStorage NS20/NS20P/NS21P/NS22P[NF8100-115]/NS130では、デフォルトで 2 台のハードディスクをソフトミラー構成として使用するよう設定されています。基本的にはデフォルト構成のままご利用になることを強くお勧めいたします。

本書では、このデフォルト構成を他の構成にあえて変更して使用する場合の手順のサンプルを掲載しておりますが、このような変更は、ミラーリングによるデータ保全性を失ってしまうことを十分ご理解下さい。また、ボリューム構成の変更に伴うデータ損失等の危険性を理解し、完全にバックアップを取った上で、Windows2000またはWindows2003の「ディスクの管理」に精通した管理者の方が行うようにして下さい。

1章 iStorage NS20/NS20P/NS21P/NS22P[NF8100-115]の 場合

1.1 セットアップの準備

必要なデータがiStorage NSのデータ領域にある場合には、次章からの作業を開始する前にバックアップを行ってください。バックアップの方法についてはソフトウェア添付のマニュアル類を参照してください。また、iStorage NS に設定済みの共有、Persistent Storage Managerの設定は以降の説明に従い削除してください。

説明に使用している画像は工場出荷時のiStorage NSになります。ご使用されているモデル、及び、設定されている環境によっては容量などが異なる場合があります。（本章では、iStorage NS21Pを例に手順を説明しています。）

1.2 ストライプボリュームへ変更

1.2.1 ストライプボリュームへの変更時の注意

工場出荷状態での説明を行っています。このため、環境を変更されている場合等、一部異なる場合があります。また、本作業は約1時間程度要します。この作業時間のほとんどがストライプボリューム作成のためのフォーマットに要する時間です。

1.2.2 ストライプボリュームへ変更

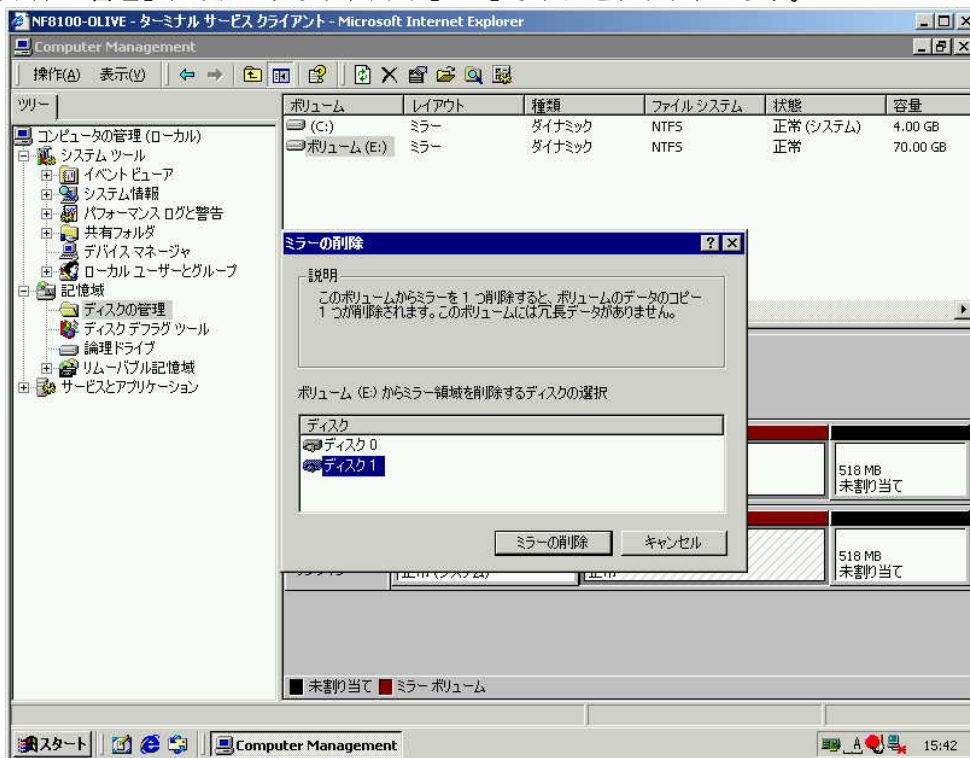
1. クライアントマシンにてブラウザを起動し、iStorage NSの管理コンソール(WebUI)を開きます。詳細はユーザーズガイドを参照してください。
2. iStorage NSでの共有をすべて削除します。
WebUIの [共有] [共有]を開き、表示されるフォルダの共有を全て削除します。
3. iStorage NSでの固定イメージのスケジュールをすべて削除します。
WebUIの[ディスク] [Persistent Storage Manager] [スケジュール]を開き、表示される固定イメージのスケジュールをすべて削除します。
4. iStorage NSでの固定イメージをすべて削除します。
WebUIの[ディスク] [Persistent Storage Manager] [固定イメージ]を開き、表示される固定イメージをすべて削除します。
5. 5～10の説明に従い、iStorage NSでのデータ領域のミラーボリュームを削除します。
WebUIの[メンテナンス] [ターミナル サービス] を選択し、Administrator 権限を持つユーザーでログオンします。ここで、【スタート】 【設定】 【コントロールパネル】 【AdministrativeTools】 【ComputerManagement】 を開き、ツリータブの【記憶域】 【ディスクの管理】を開きます。工場出荷時では以下のように (C:) (E:) がミラーボリュームで、(E:) がデータ領域となっています。



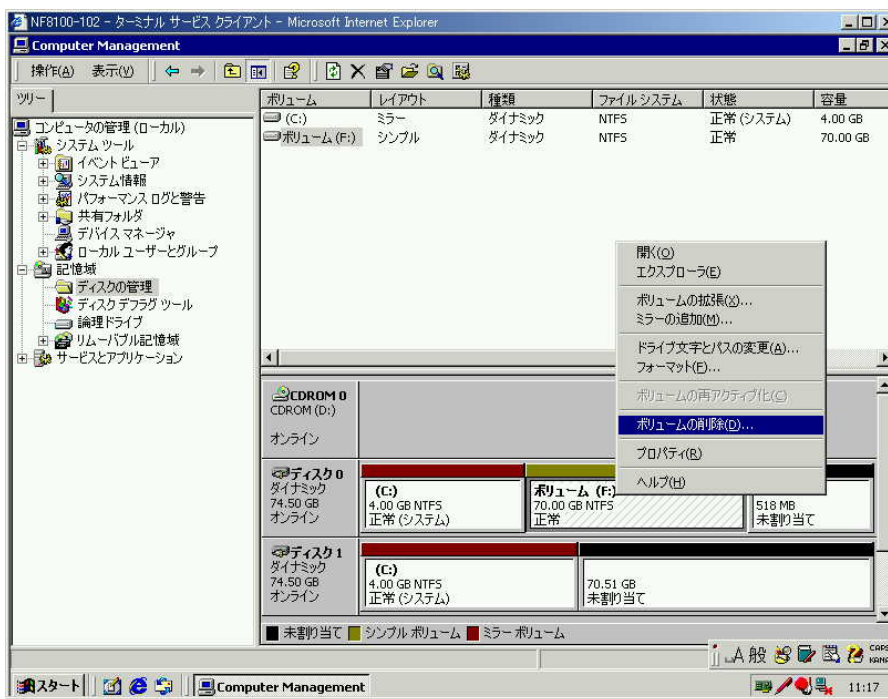
6. ディスク1のボリューム (E:) を右クリックし、【ミラーの削除】を選択します。解除ではないことにご注意願います。



7. 【ミラーの削除】ダイアログボックスでディスク1を選択し、【ミラーの削除】ボタンをクリックします。
8. 【ディスクの管理】ダイアログボックスで【Yes】ボタンをクリックします。



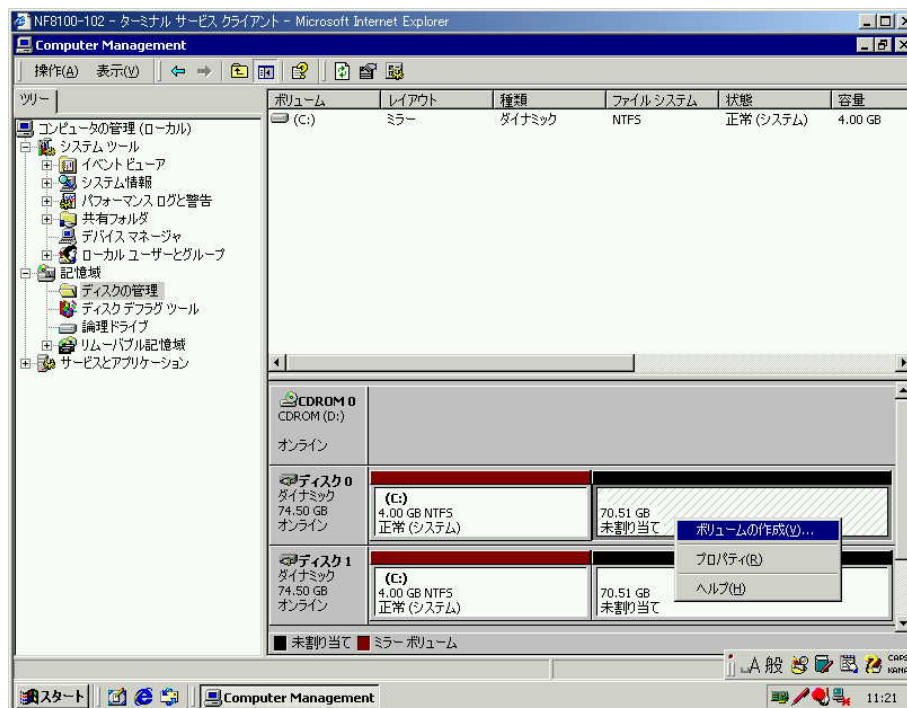
- 次に、ディスク0のボリューム (E:) を削除します。



- 【シンプルボリュームの削除】ダイアログボックスで【Yes】ボタンをクリックします。

- 11 ~ 19の説明に従い、ストライプボリュームを作成します。

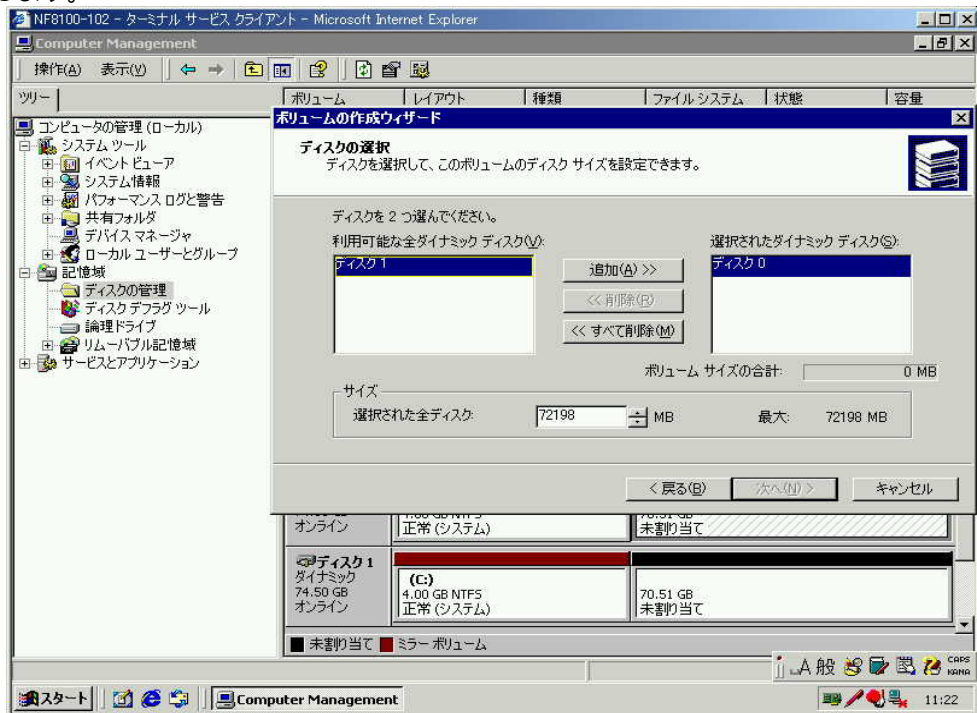
ディスク0の未割り当て領域を右クリックし、【ボリュームの作成】を選択します。



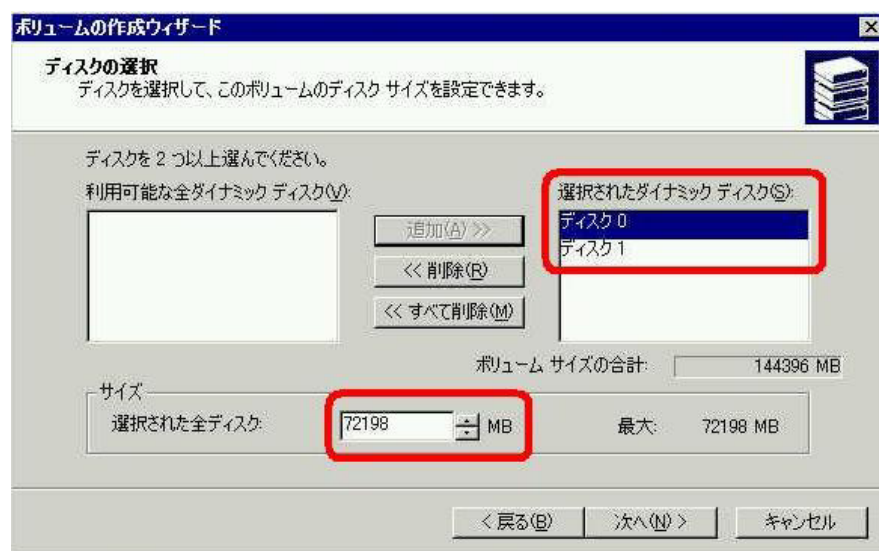
- 【ボリュームの作成ウィザード】で【次へ】ボタンをクリックします。

- 【ボリュームの種類を選択】で【ストライプボリューム】を選択し、【次へ】ボタンをクリックします。

14. 【ディスクの選択】の【利用可能な全ダイナミックディスク】からディスク 1 を選択し、【追加】ボタンをクリックします。

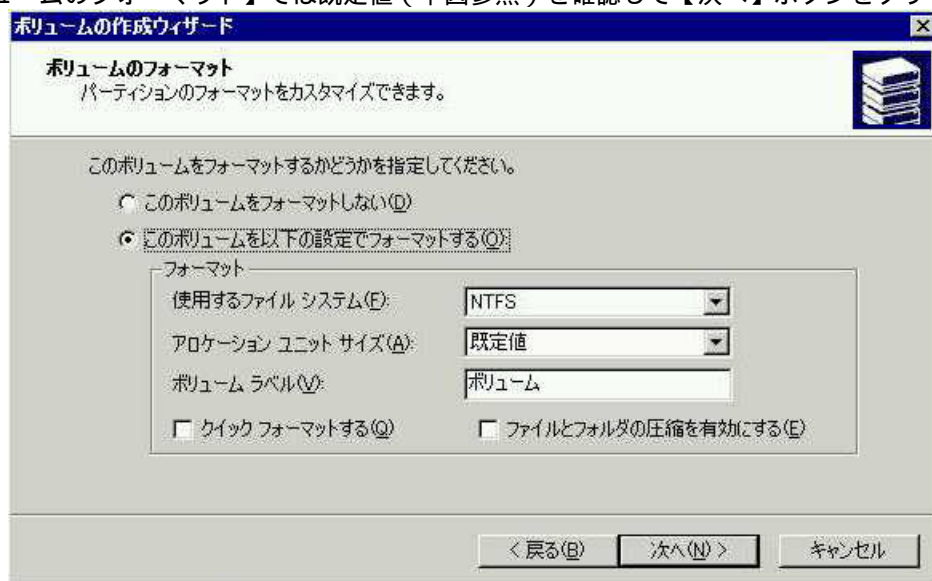


15. 次に【選択されたダイナミックディスク】にディスク 0 とディスク 1 が表示されていることと、【サイズ】の【選択された全ディスク】と【最大】が同じ容量になっていることを確認して【次へ】ボタンをクリックします。

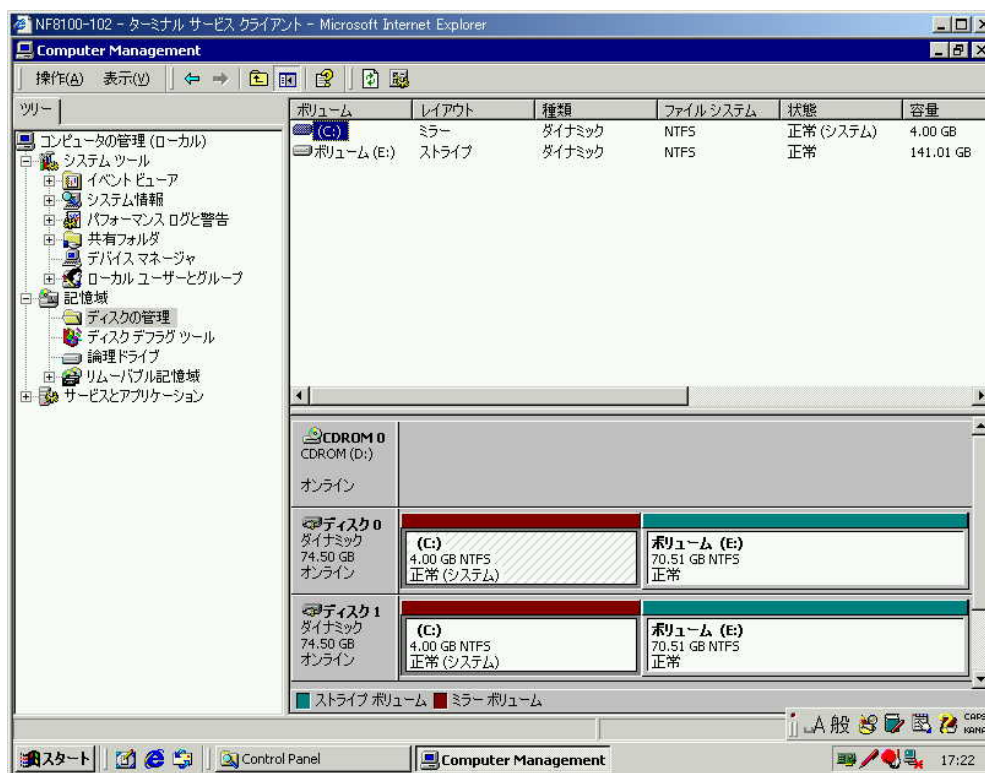


16. 【ドライブ文字またはパスの割り当て】では【ドライブ文字の割り当て】に【E:】が設定されていることを確認し、【次へ】ボタンをクリックします。

17. 【ボリュームのフォーマット】では既定値（下図参照）を確認して【次へ】ボタンをクリックします。



18. 【ボリュームの作成ウィザードの完了】で【完了】ボタンをクリックすると、ストライプボリュームのフォーマットが始まります。約1時間かかります。
19. ストライプボリュームのフォーマットが正常に終了するとボリュームの容量の下が正常に変わります。



20. 次に、iStorage NSでの共有を設定します。
WebUIの [共有] [共有]を開き、必要に応じて共有設定を行ってください。

以上で作業は終了です。WebUIを終了します。

1.3 ストライプボリュームからミラーボリュームへ変更

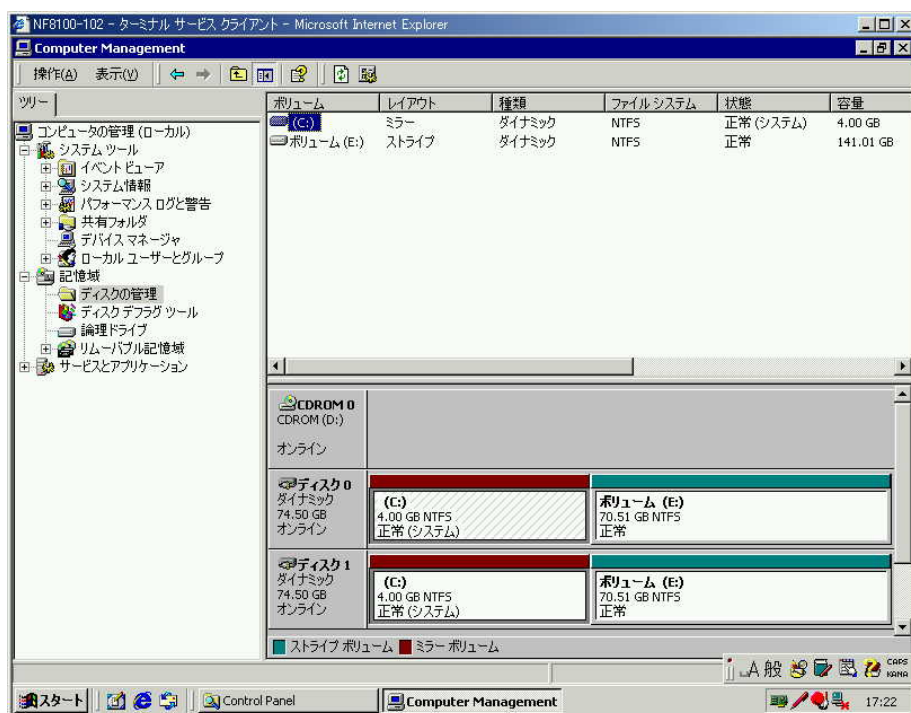
1.3.1 ストライプボリュームからミラーボリュームへの変更時の注意

「1.2.2 ストライプボリュームへ変更」に基づいて作成した状態での説明を行っています。このため、環境を変更されている場合は、一部異なる場合があります。また、本作業は2時間程度を要します。この作業時間のほとんどがミラーボリューム作成のためのフォーマットに要する時間です。

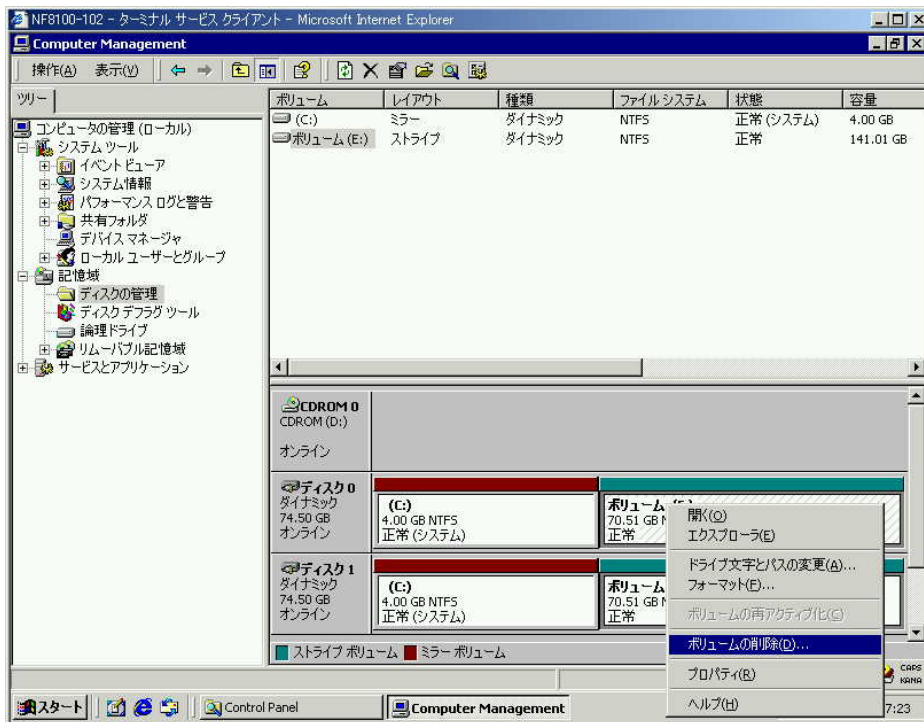
必要なデータがiStorage NSのデータ領域にある場合には、以下の作業を開始される前にバックアップを行ってください。バックアップの方法はバックアップソフトのマニュアルを参照してください。

1.3.2 ストライプボリュームからミラーボリュームへ変更

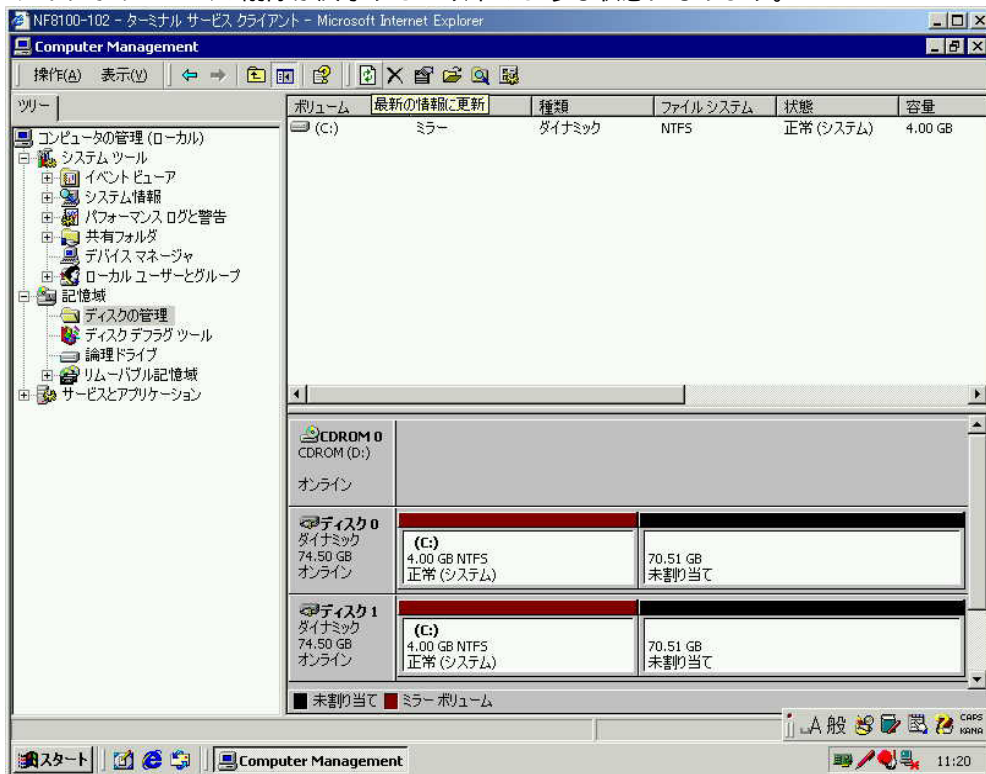
1. クライアントマシンにてブラウザを起動し、iStorage NSの管理コンソール(WebUI)を開きます。詳細はユーザーズガイドを参照してください。
2. iStorage NSでの共有をすべて削除します。
WebUIの[共有] [共有] を開き、表示されるフォルダの共有を全て削除します。
3. iStorage NSでの固定イメージのスケジュールをすべて削除します。
WebUIの[ディスク] [Persistent Storage Manager] [スケジュール]を開き、表示される固定イメージのスケジュールをすべて削除します。
4. iStorage NSでの固定イメージをすべて削除します。
WebUIの[ディスク] [Persistent Storage Manager] [固定イメージ]を開き、表示される固定イメージをすべて削除します。
5. 5～8の説明に従い、iStorage NSでのストライプボリュームを削除します。
WebUIの[メンテナンス] [ターミナル サービス] を選択し、Administrator 権限を持つユーザーでログオンします。ここで、【スタート】 【設定】 【コントロールパネル】 【AdministrativeTools】 【ComputerManagement】 を開き、ツリータブの【記憶域】 【ディスクの管理】を開きます。ストライプボリューム作成手順通りに作成していれば以下のような状態となっています。



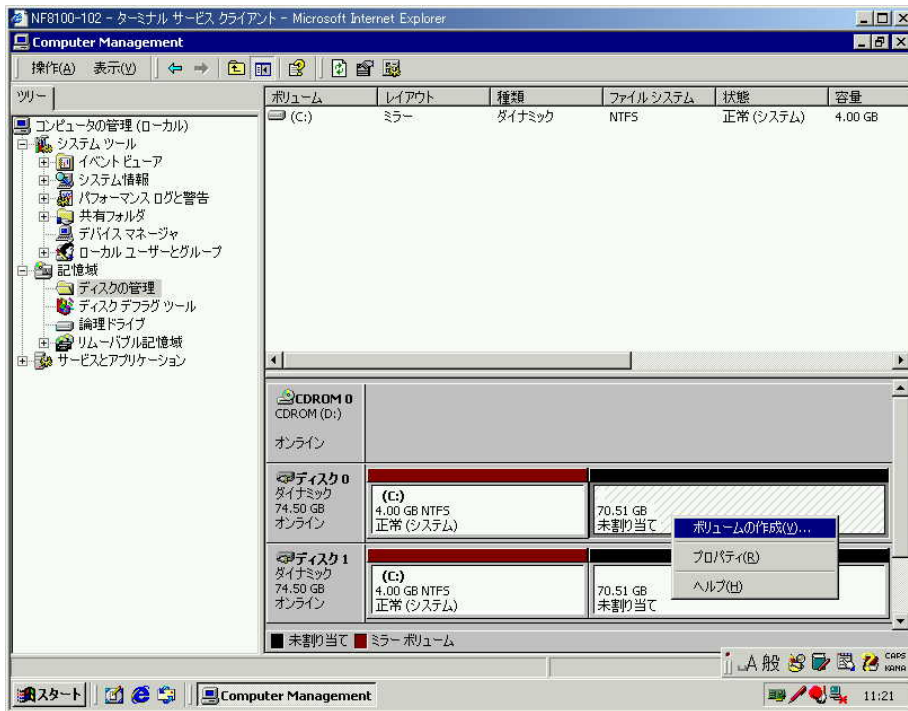
6. ストライプボリューム（図ではE:）を右クリックし、【ボリュームの削除】を選択します。



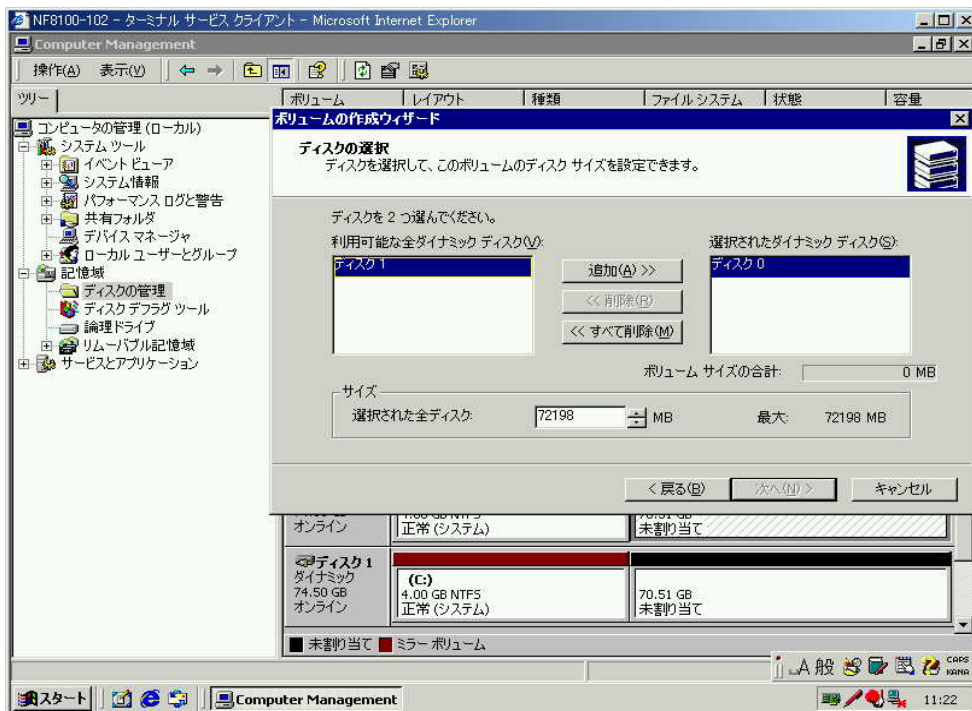
7. 【ストライプボリュームの削除】ダイアログボックスで【Yes】ボタンをクリックします。
 8. ストライプボリュームの削除が終了すると以下のような状態になります。



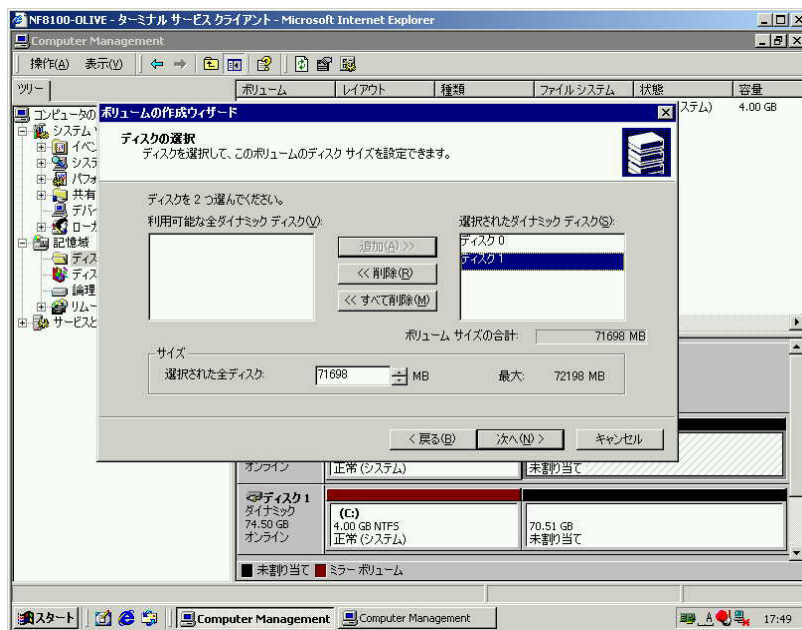
9. 9～18の説明に従い、ミラーボリュームを作成します。
ディスク0の未割り当て領域を右クリックし、【ボリュームの作成】を選択します。



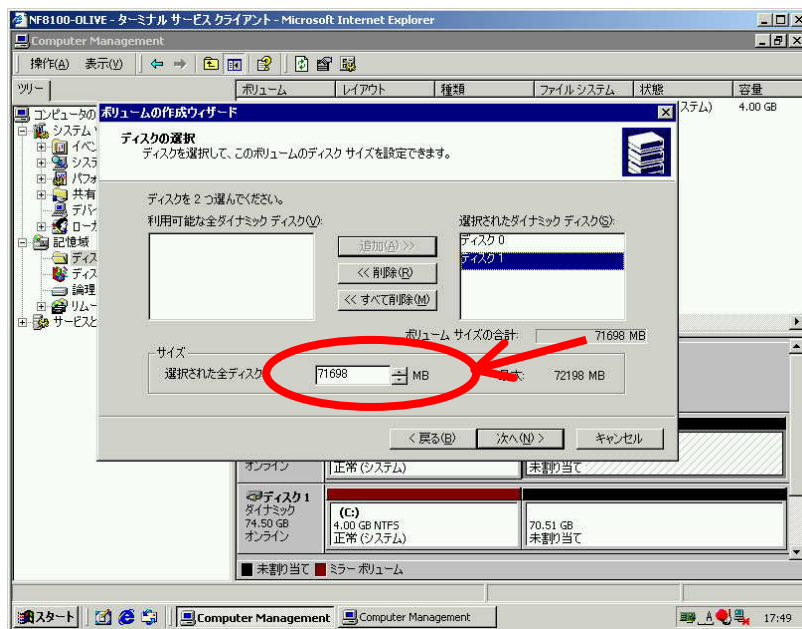
10. 【ボリュームの作成ウィザード】で【次へ】ボタンをクリックします。
11. 【ボリュームの種類の選択】で【ミラーボリューム】を選択し、【次へ】ボタンをクリックします。
12. 【ディスクの選択】の【利用可能な全ダイナミックディスク】からディスク1を選択し、【追加】ボタンをクリックします。



13. 次に【選択されたダイナミックディスク】にディスク0とディスク1が表示されていることを確認します。



14. さらに【サイズ】の【選択された全ディスク】に最大より500MB程度少なくボリュームサイズを入力し、【次へ】ボタンをクリックします。

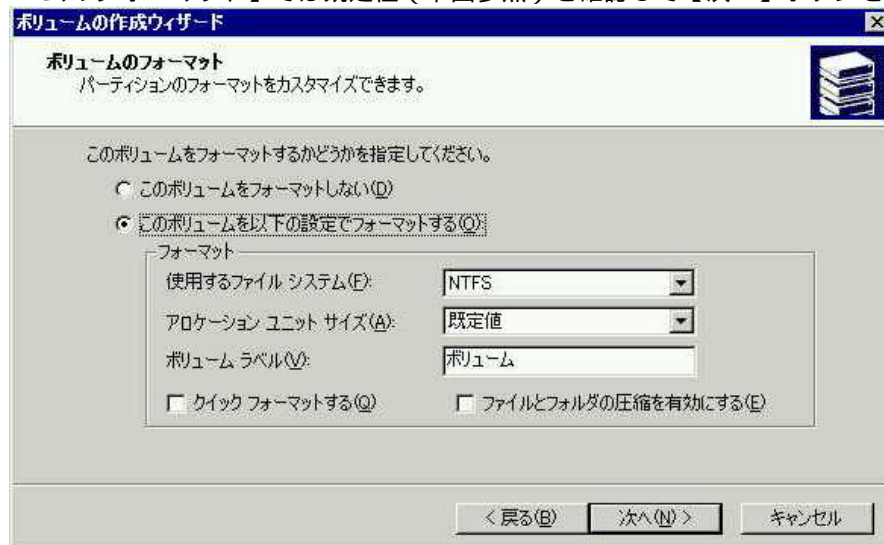


< ご注意 >

【次へ】を選択する前に、もう一度【サイズ】の【選択された全ディスク】の容量が、【最大】に表示されている容量より500MB程度少なく設定されていることを確認してください。ディスクの未割り当て領域がない場合などミラーリングが出来ない事があります。

15. 【ドライブ文字またはパスの割り当て】では【ドライブ文字の割り当て】に【E:】が設定されていることを確認し、【次へ】ボタンをクリックします。

16. 【ボリュームのフォーマット】では既定値（下図参照）を確認して【次へ】ボタンをクリックします。



17. 【ボリュームの作成ウィザードの完了】で【完了】ボタンをクリックすると、ミラーボリュームのフォーマットが始まります。約1時間30分程かかります。
18. フォーマットが正常に終了するとボリュームの容量の下が正常に変わります。



19. 次に、iStorage NSでの共有を設定します。
WebUIの [共有] [共有]を開き、必要に応じて共有設定を行ってください。
以上で作業は終了です。WebUIを終了します。

1.4 シンプルボリュームへ変更

1.4.1 シンプルボリュームへの変更時の注意

工場出荷状態での説明を行っています。このため、環境を変更されている場合等、一部異なる場合があります。

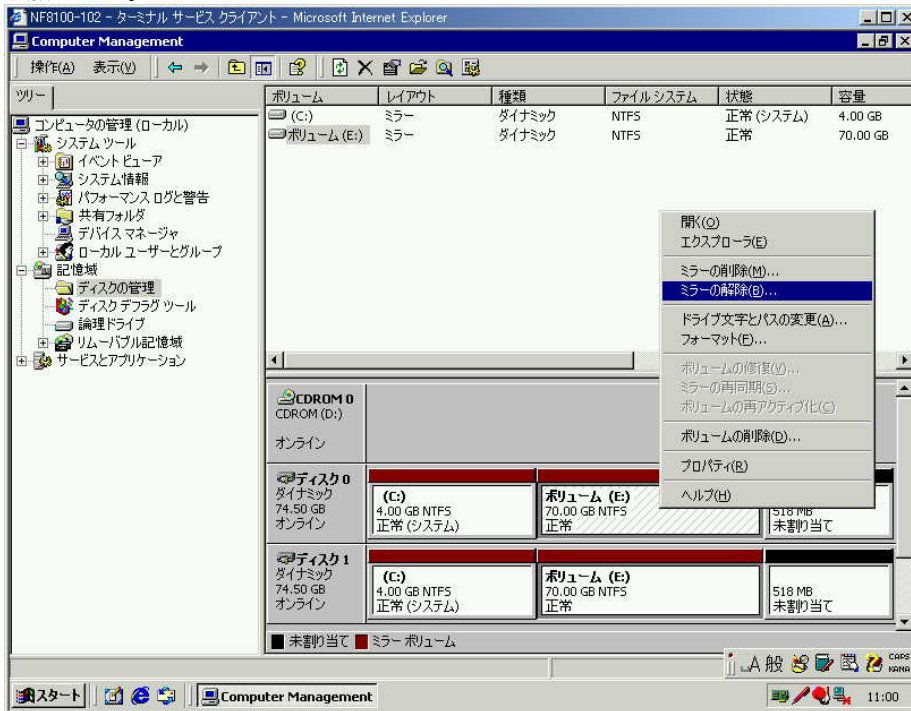
シンプルボリュームへの変更には2つの手順があります。シンプルボリュームへの変更(1)の手順は短時間で完了しますが、約500MBの未割り当て領域となります。また、シンプルボリュームへの変更(2)の手順であれば、2時間程要しますが全ての領域を使用することが出来ます。

1.4.2 シンプルボリュームへ変更(1)

1. クライアントマシンにてブラウザを起動し、iStorage NSの管理コンソール(WebUI)を開きます。詳細はユーザーズガイドを参照してください。
2. iStorage NSでの共有をすべて削除します。
WebUIの[共有] [共有]を開き、表示されるフォルダの共有を全て削除します。
3. iStorage NSでの固定イメージのスケジュールをすべて削除します。
WebUIの[ディスク] [Persistent Storage Manager] [スケジュール]を開き、表示される固定イメージのスケジュールをすべて削除します。
4. iStorage NSでの固定イメージをすべて削除します。
WebUIの[ディスク] [Persistent Storage Manager] [固定イメージ]を開き、表示される固定イメージをすべて削除します。
5. 5～8の説明に従い、iStorage NSでのデータ領域のミラーボリュームを解除します。
WebUIの[メンテナンス] [ターミナルサービス] を選択し、Administrator 権限を持つユーザーでログオンします。ここで、【スタート】 【設定】 【コントロールパネル】 【AdministrativeTools】 【ComputerManagement】 を開き、ツリータブの【記憶域】 【ディスクの管理】を開きます。工場出荷時では以下のように (C:) (E:) がミラーボリュームで、(E:) がデータ領域になっています。



- まず、ディスク1のボリューム (E:) を右クリックし、【ミラーの解除】を選択します。削除ではないことにご注意願います。



- 【ミラーの解除】で特に問題がなければ【Yes】ボタンをクリックします。
- 正常に終了するとボリュームが下図のように変わります。



- 最後に、iStorage NSでの共有を設定します。
WebUIの[共有] [共有] を開き、必要に応じて共有設定を行ってください。

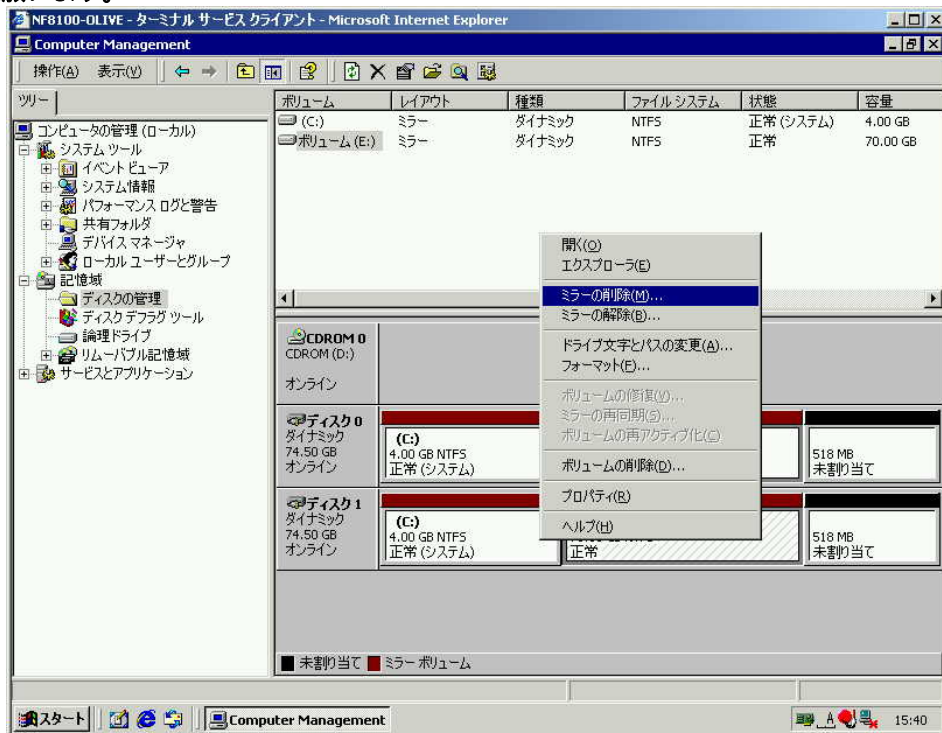
以上で作業は終了です。WebUIを終了します。

1.4.3 シンプルボリュームへ変更(2)

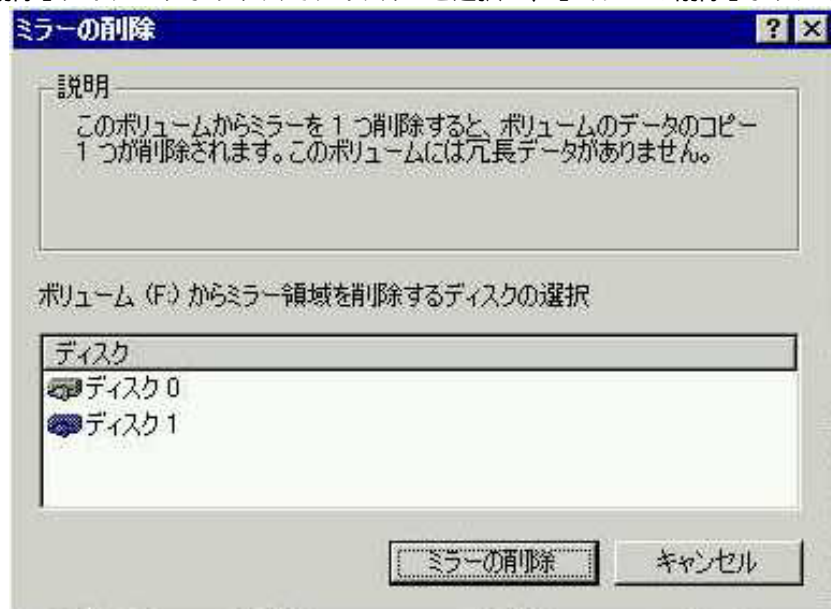
1. クライアントマシンにてブラウザを起動し、iStorage NSの管理コンソール(WebUI)を開きます。詳細はユーザーズガイドを参照してください。
2. iStorage NSでの共有をすべて削除します。
WebUIの[共有] [共有] を開き、表示されるフォルダの共有を全て削除します。
3. iStorage NSでの固定イメージのスケジュールをすべて削除します。
WebUIの[ディスク] [Persistent Storage Manager] [スケジュール]を開き、表示される固定イメージのスケジュールをすべて削除します。
4. iStorage NSでの固定イメージをすべて削除します。
WebUIの[ディスク] [Persistent Storage Manager] [固定イメージ]を開き、表示される固定イメージをすべて削除します。
5. 5 ~ 9の説明に従い、iStorage NSでのデータ領域のミラーボリュームを削除します。
WebUIの[メンテナンス] [ターミナル サービス] を選択し、Administrator 権限を持つユーザーでログオンします。ここで、【スタート】 【設定】 【コントロールパネル】 【AdministrativeTools】 【ComputerManagement】 を開き、ツリータブの【記憶域】 【ディスクの管理】を開きます。工場出荷時では以下のように (C:) (E:) がミラーボリュームで、(E:) がデータ領域になっています。



6. まず、ディスク1のボリューム (E:) を右クリックし、【ミラーの削除】を選択します。解除ではないことにご注意願います。

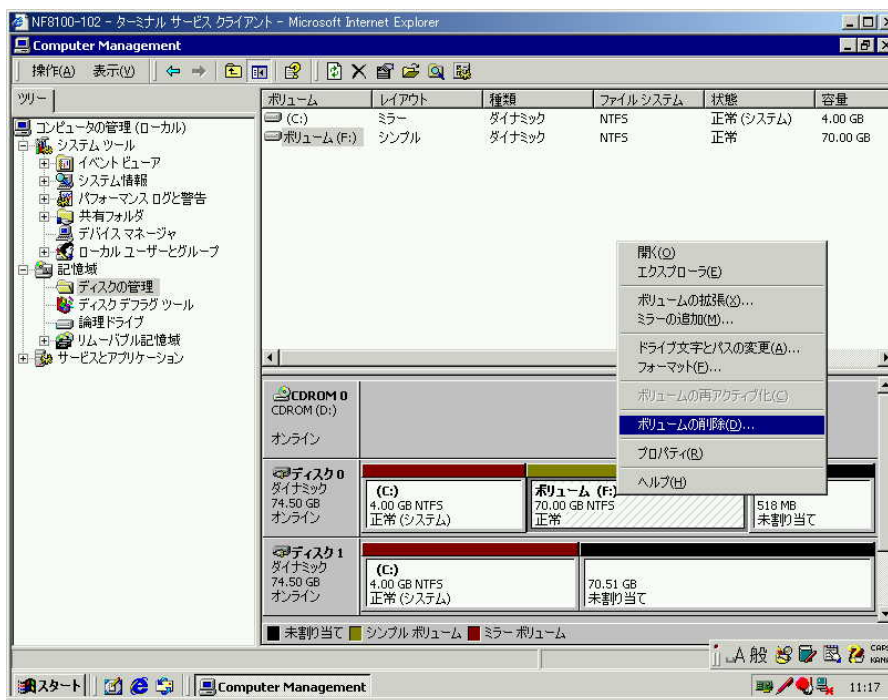


7. 【ミラーの削除】ダイアログボックスでディスク1を選択し、【ミラーの削除】ボタンをクリックします。

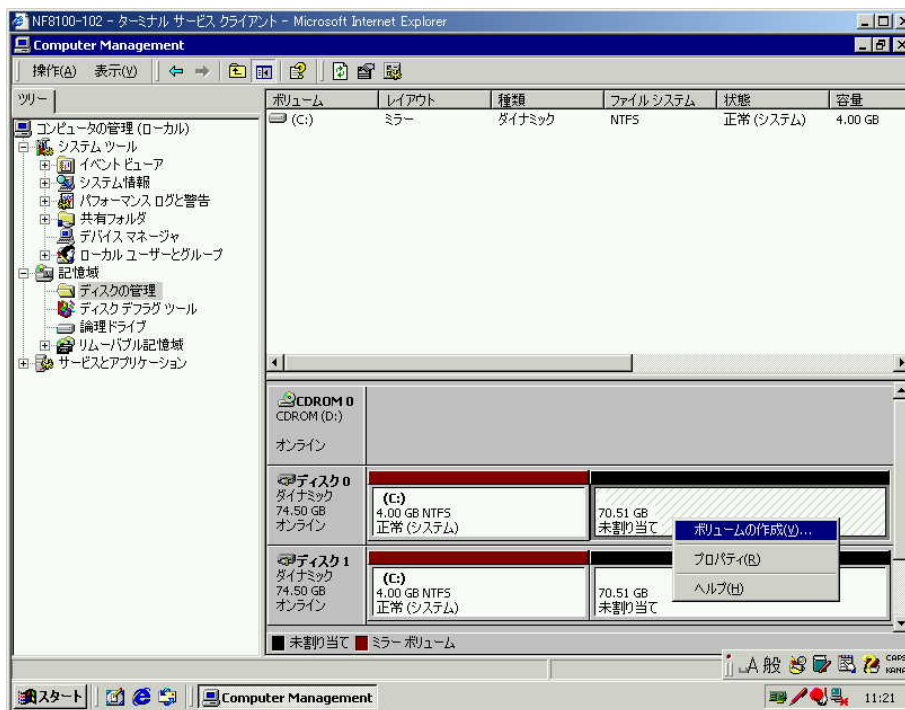


8. 【ディスクの管理】ダイアログボックスで【Yes】ボタンをクリックします。

- 次に、ディスク0のボリューム (E:) を削除します。

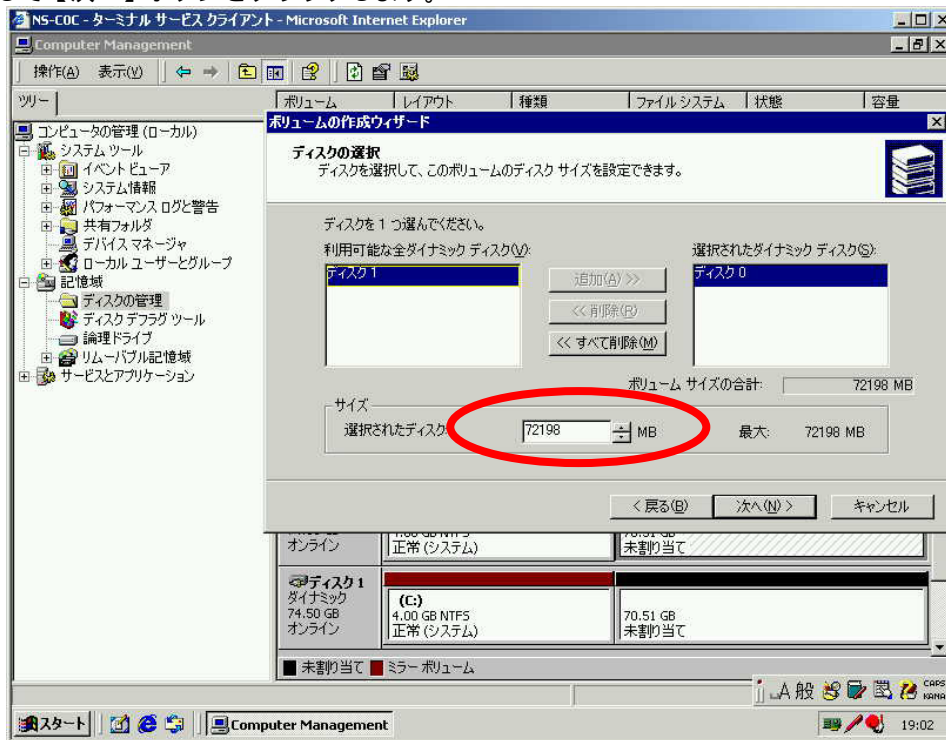


- 次に、10～19の説明に従い、シンプルボリュームを作成します。
ディスク0の未割り当て領域を右クリックし、【ボリューム作成】を選択します。

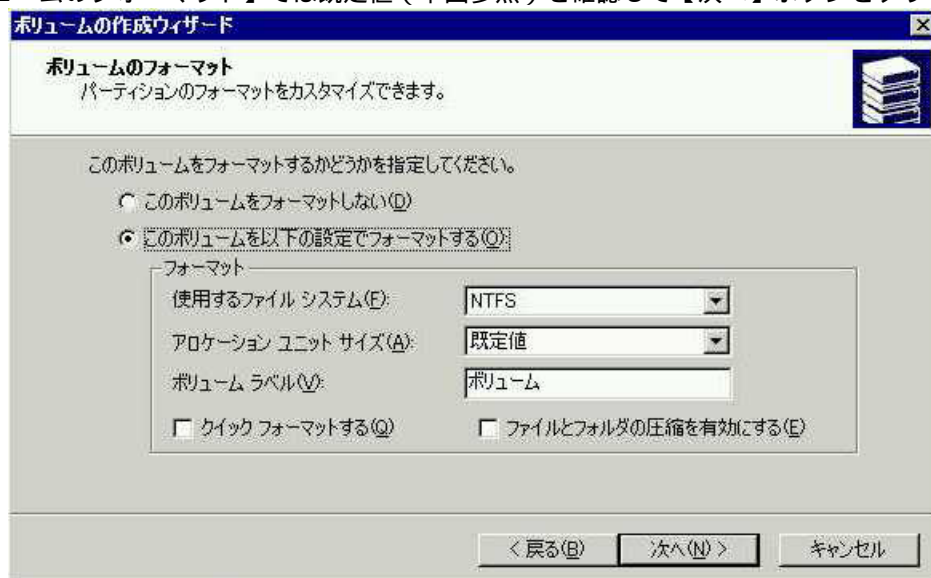


- 【ボリュームの作成ウィザード】で【次へ】ボタンをクリックします。
- 【ボリュームの種類を選択】で【シンプルボリューム】を選択し、【次へ】ボタンをクリックします。

13. 【ディスクの選択】では【サイズ】の【選択された全ディスク】と【最大】が同じ容量になっていることを確認して【次へ】ボタンをクリックします。

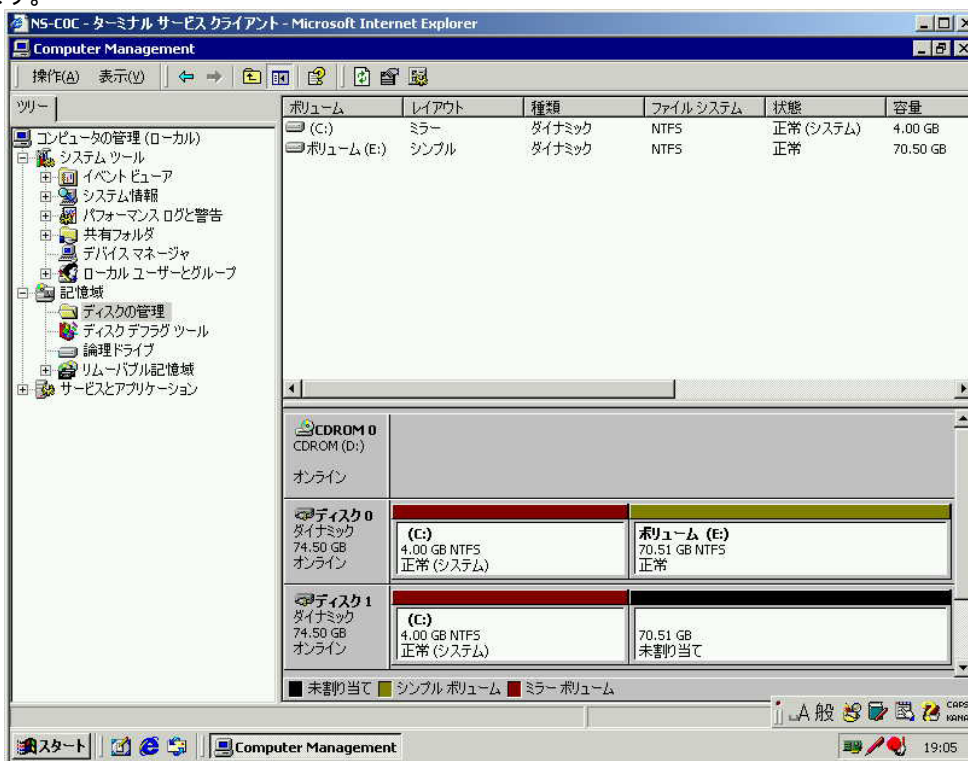


14. 【ドライブ文字またはパスの割り当て】では【ドライブ文字の割り当て】に【E:】（ディスク1の場合は【F:】）が設定されていることを確認し、【次へ】ボタンをクリックします。
15. 【ボリュームのフォーマット】では既定値（下図参照）を確認して【次へ】ボタンをクリックします。



16. 【ボリュームの作成ウィザードの完了】で【完了】ボタンをクリックすると、シンプルボリュームのフォーマットが始まります。1時間程かかります。

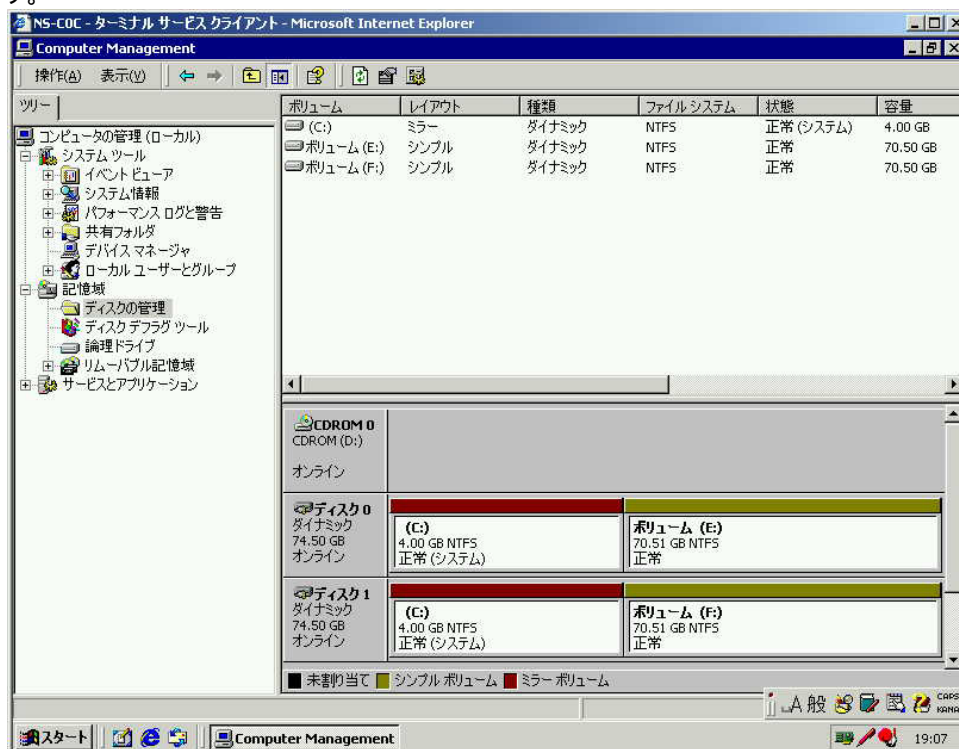
17. ディスク0のシンプルボリュームのフォーマットが正常に終了するとボリュームの容量の下が正常に変わります。



18. 次に、ディスク1に10~16と同じ手順でシンプルボリュームを作成します。

<ご注意> ディスク0のシンプルボリュームのフォーマットが終了するまでディスク1のシンプルボリュームのフォーマットは出来ません。

19. ディスク1のシンプルボリュームのフォーマットが正常に終了するとボリュームの容量の下が正常に変わります。



20. 最後に、iStorage NSでの共有を設定します。

WebUIの[共有] [共有] を開き、必要に応じて共有設定を行ってください。

以上で作業は終了です。WebUIを終了します。

1.5 シンプルボリュームからミラーボリュームへ変更

1.5.1 シンプルボリュームからミラーボリュームへの変更時の注意

前章の「シンプルボリュームへ変更」に基づいて作成した状態での説明を行っています。このため、環境を変更されている場合は、一部異なる場合があります。

また、本作業は2時間程度を要します。この作業時間のほとんどがミラーボリューム作成のためのフォーマットに要する時間です。

必要なデータがiStorage NSのデータ領域にある場合には、以下の作業を開始される前にバックアップを行ってください。バックアップの方法は管理者ガイドまたはバックアップソフトのマニュアルを参照してください。

1.5.2 シンプルボリュームからミラーボリュームへ変更

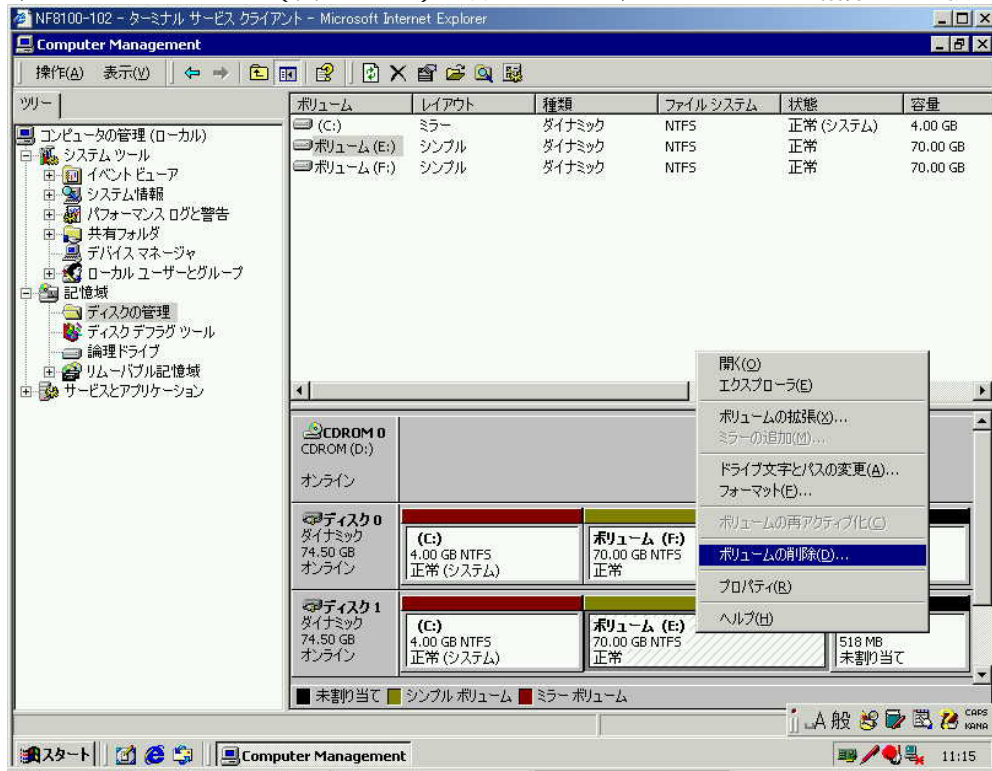
1. クライアントマシンにてブラウザを起動し、iStorage NSの管理コンソール(WebUI)を開きます。詳細はユーザーズガイドを参照してください。
2. iStorage NSでの共有をすべて削除します。
WebUIの[共有] [共有] を開き、表示されるフォルダの共有を全て削除します。
3. iStorage NSでの固定イメージのスケジュールをすべて削除します。
WebUIの[ディスク] [Persistent Storage Manager] [スケジュール]を開き、表示される固定イメージのスケジュールをすべて削除します。
4. iStorage NSでの固定イメージをすべて削除します。
WebUIの[ディスク] [Persistent Storage Manager] [固定イメージ]を開き、表示される固定イメージをすべて削除します。

5. 5～9の説明に従い、iStorage NSでのシンプルボリュームを削除します。

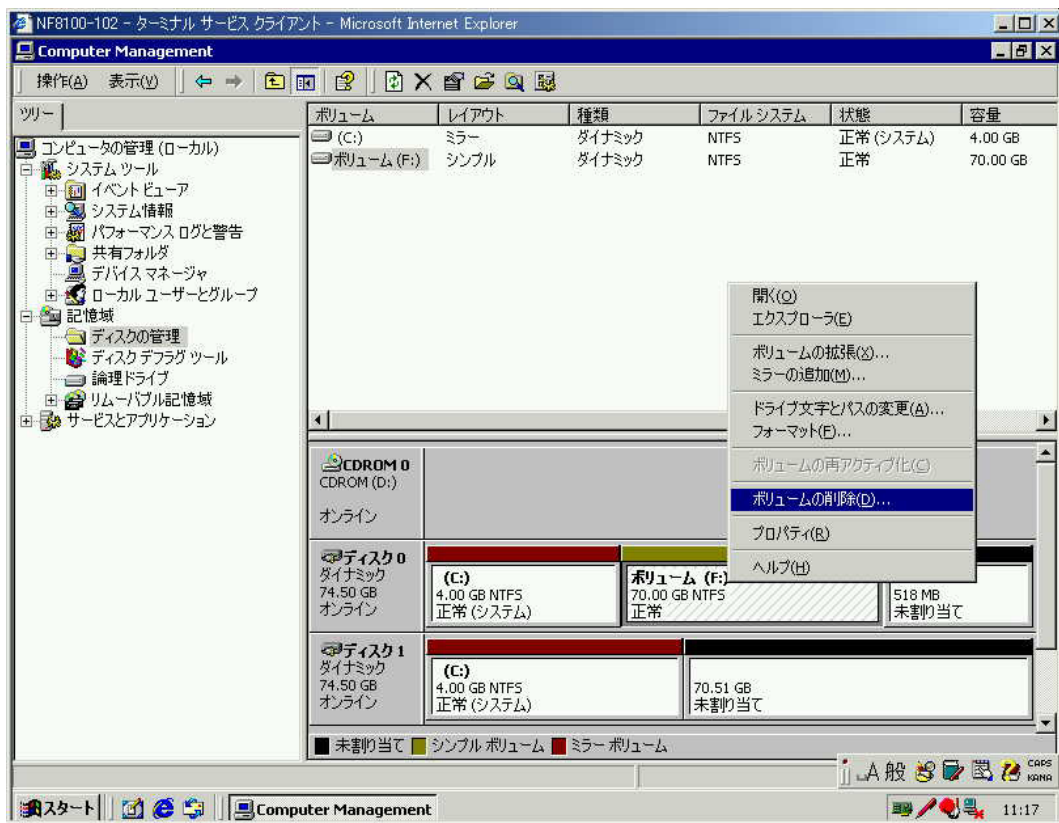
WebUIの[メンテナンス] [ターミナル サービス] を選択し、Administrator 権限を持つユーザーでログインします。ここで、【スタート】 【設定】 【コントロールパネル】 【AdministrativeTools】 【ComputerManagement】 を開き、ツリータブの【記憶域】 【ディスクの管理】を開きます。シンプルボリューム作成手順通りに作成していれば以下のような状態となっています。



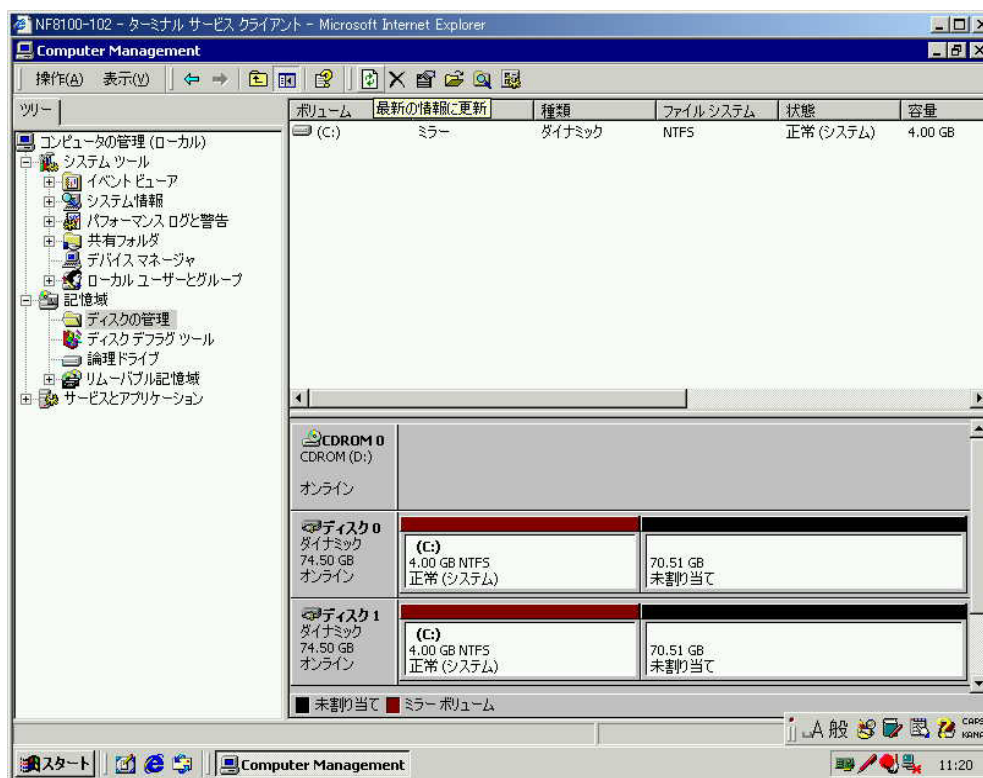
6. まず、シンプルボリューム（図ではE：）を右クリックし、【ボリュームの削除】を選択します。



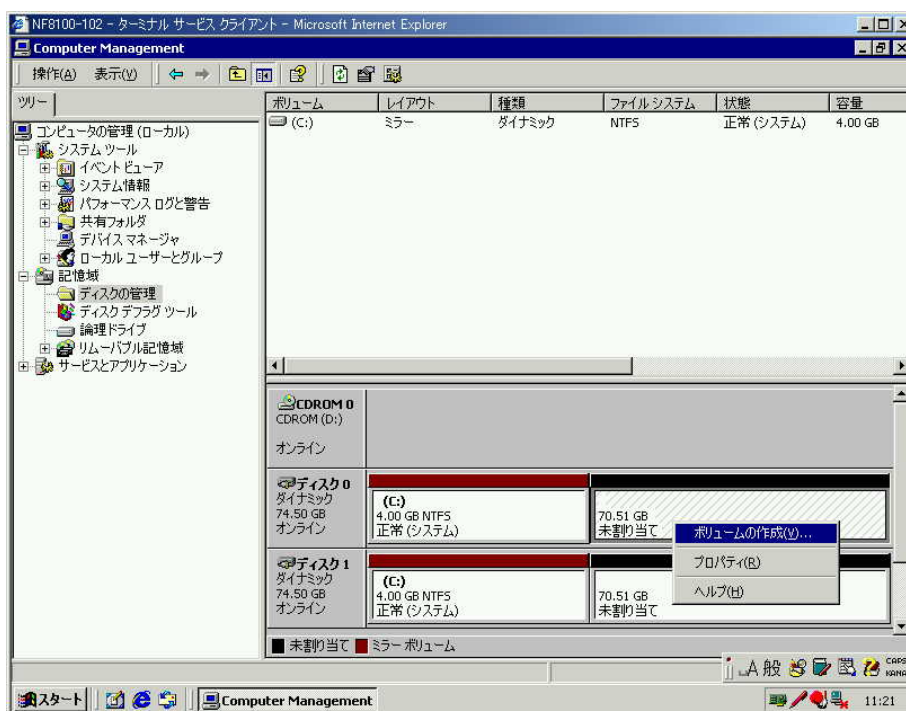
7. 【シンプルボリュームの削除】ダイアログボックスで【Yes】ボタンをクリックします。
 8. 6、7と同じ手順で残りのシンプルボリューム（図ではF：）を削除します。



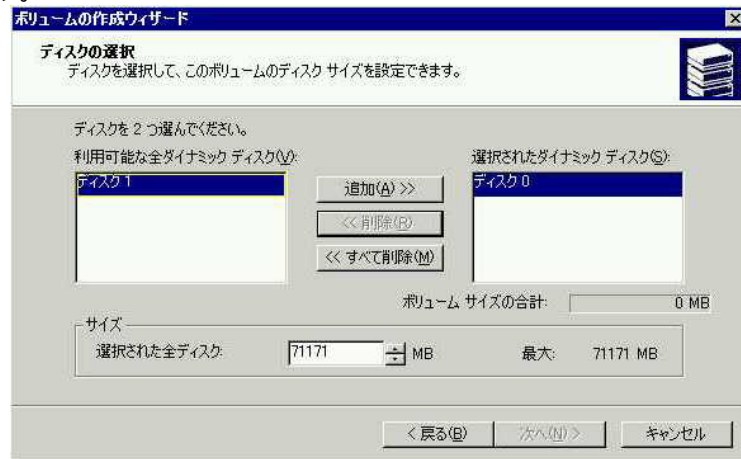
9. シンプルボリュームの削除が終了すると以下のような状態になります。



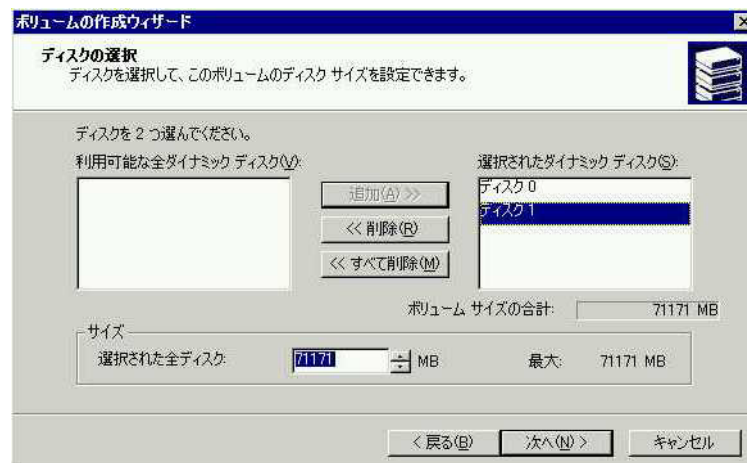
10. 10～19の説明に従い、ミラーボリュームを作成します。
ディスク 0 の未割り当て領域を右クリックし、【ボリュームの作成】を選択します。



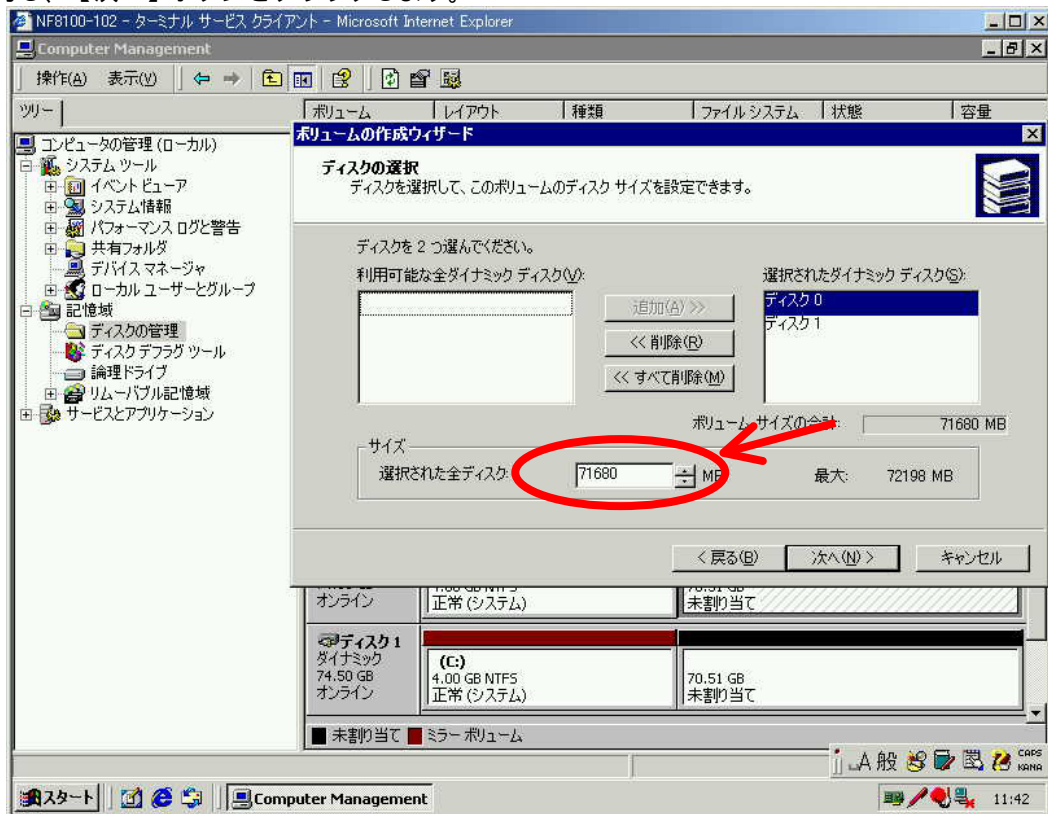
11. 【ボリュームの作成ウィザード】で【次へ】ボタンをクリックします。
12. 【ボリュームの種類を選択】で【ミラーボリューム】を選択し、【次へ】ボタンをクリックします。
13. 【ディスクの選択】の【利用可能な全ダイナミックディスク】からディスク1を選択し、【追加】ボタンをクリックします。



14. 次に【選択されたダイナミックディスク】にディスク0とディスク1が表示されていることを確認します。



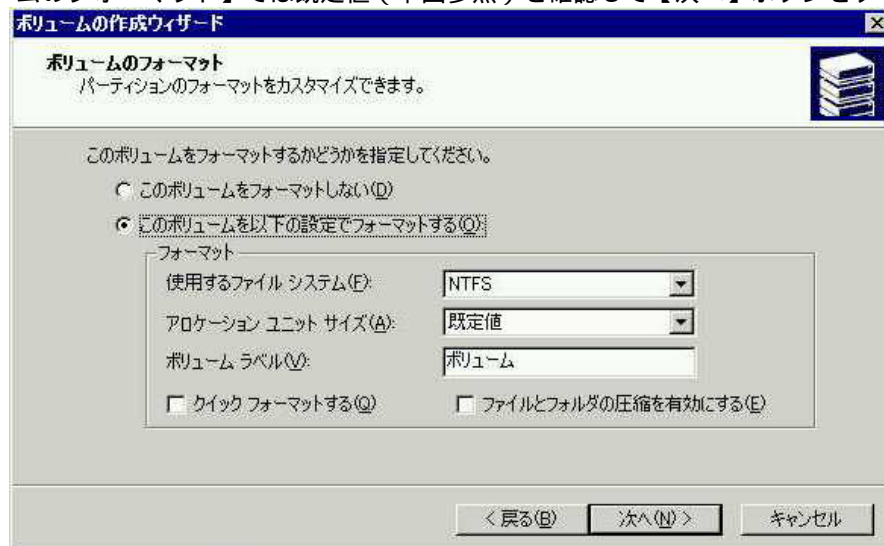
15. さらに【サイズ】の【選択された全ディスク】に【最大】より500MB程度少なくボリュームサイズを入力し、【次へ】ボタンをクリックします。



< ご注意 >

【次へ】を選択する前に、もう一度【サイズ】の【選択された全ディスク】の容量が、【最大】に表示されている容量より500MB程度少なく設定されていることを確認してください。ディスクの未割り当て領域がない場合などミラーリングが出来ない事があります。

16. 【ドライブ文字またはパスの割り当て】では【ドライブ文字の割り当て】に【E:】が設定されていることを確認し、【次へ】ボタンをクリックします。
17. 【ボリュームのフォーマット】では既定値（下図参照）を確認して【次へ】ボタンをクリックします。



18. 【ボリューム作成ウィザードの完了】で【完了】ボタンをクリックすると、ミラーボリュームのフォーマットが始まります。約1時間30分程かかります。
19. フォーマットが正常に終了するとボリュームの容量の下が正常に変わります。



20. 次に、iStorage NSでの共有を設定します。
WebUIの[共有] [共有] を開き、必要に応じて共有設定を行ってください。
以上で作業は終了です。WebUIを終了します。

2章 iStorage NS130の場合

2.1 セットアップの準備

必要なデータがiStorage NSのデータ領域にある場合には、次章からの作業を開始する前にバックアップを行ってください。バックアップの方法についてはソフトウェア添付のマニュアル類を参照してください。また、iStorage NS に設定済みの共有、DFSルート、シャドウコピー、最適化のスケジュール設定は以降の説明に従い削除してください。iStorage NS で設定されているDFSルートを削除すると、そのルートのDFSリンクは通常のSMB共有となり、DFSリンクとしては使用できなくなります。

説明に使用している画像は工場出荷時のiStorage NSになります。ご使用されているモデル、及び、設定されている環境によっては容量などが異なる場合があります。（本章では、iStorage NS130を例に手順を説明しています。）

2.2 ストライプボリュームへ変更

2.2.1 ストライプボリュームへの変更時の注意

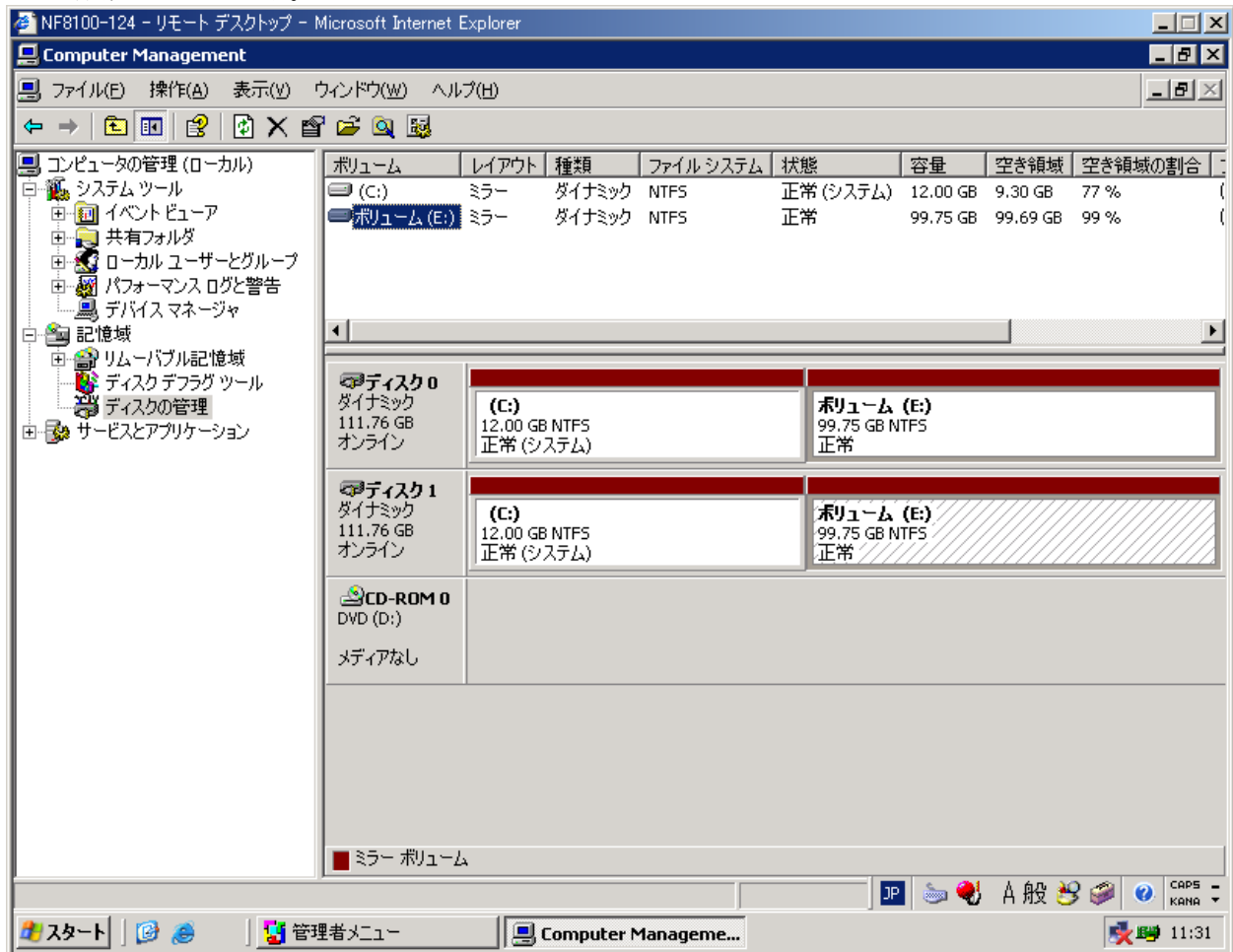
工場出荷状態での説明を行っています。このため、環境を変更されている場合等、一部異なる場合があります。また、本作業は約1時間程度要します。この作業時間のほとんどがストライプボリューム作成のためのフォーマットに要する時間です。

2.2.2 ストライプボリュームへ変更

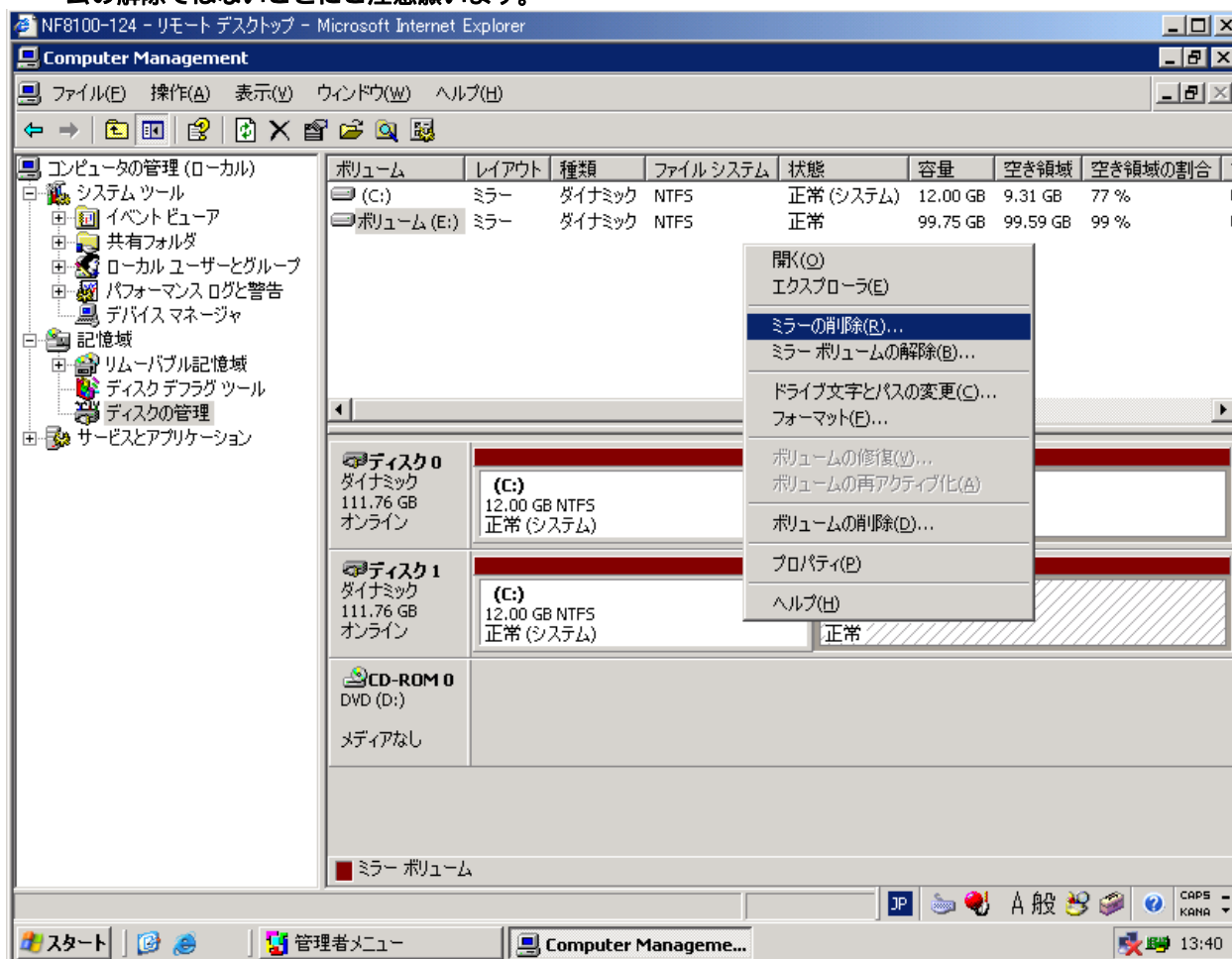
1. クライアントマシンにてブラウザを起動し、iStorage NSの管理コンソール(WebUI)を開きます。詳細はユーザーズガイドを参照してください。
2. iStorage NSでローカルDFSルートまたはドメインDFSルートを設定している場合は削除します。
WebUIの[共有] [共有プロトコル] [DFS]を開きます。[ローカルのDFSルート]タブをクリックし、[ルートの削除]ボタンをクリックしてOKをクリックします。DFSの設定をリモートデスクトップから行っている場合は、WebUIの[メンテナンス] [リモートデスクトップ]を選択して、Administrator 権限を持つユーザーでログオンします。表示される管理者メニューから[分散ファイルシステム]を開き、ルートの削除を行ってください。
3. iStorage NSでの共有をすべて削除します。
WebUIの [共有] [共有]を開き、表示されるフォルダの共有を全て削除します。
4. iStorage NSでのシャドウコピーのスケジュールをすべて削除します。
WebUIの[ディスク] [シャドウコピー]を開き、ボリュームを選択して[スケジュールの設定]をクリックして、表示されるシャドウコピーのスケジュールをすべて削除します。
5. iStorage NSでのシャドウコピーをすべて削除します。
WebUIの[ディスク] [シャドウコピー]を開き、ボリュームを選択して[シャドウコピーの表示]をクリックして、表示されるシャドウコピーをすべて削除します。
6. iStorage NSでの最適化のスケジュールを無効にします。
WebUIの[ディスク] [ボリューム]を開き、ボリュームを選択して[最適化のスケジュール]をクリックして、[このボリュームの最適化をスケジュールする]のチェックボックスのチェックをはずした後、[OK]をクリックします。

7. 7～12の説明に従い、iStorage NSでのデータ領域のミラーボリュームを削除します。

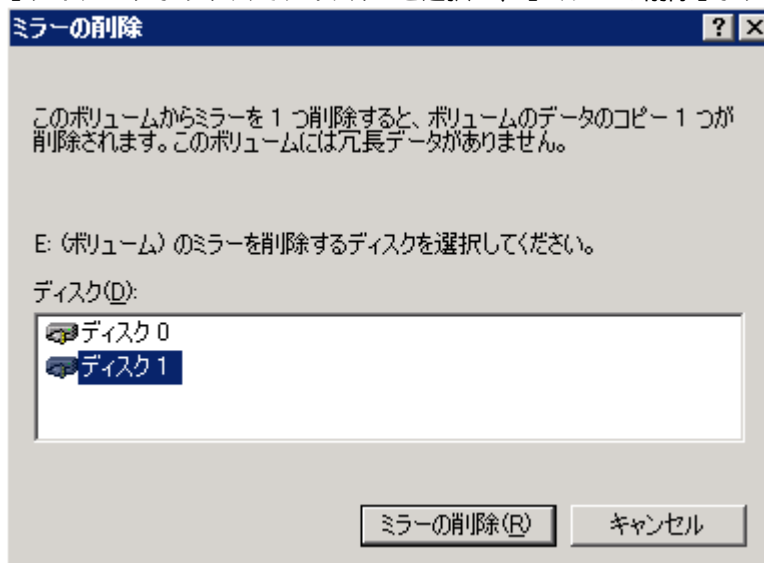
WebUIの[メンテナンス] [リモートデスクトップ] を選択し、Administrator 権限を持つユーザーでログインします。管理者メニューから【コンピュータの管理】を開き、ツリータブの【ディスクの管理】をクリックします。工場出荷時では以下のように (C:) (E:) がミラーボリュームで、(E:) がデータ領域となっています。



8. まず、ディスク1のボリューム (E:) を右クリックし、【ミラーの削除】を選択します。ミラーボリュームの解除ではないことにご注意願います。

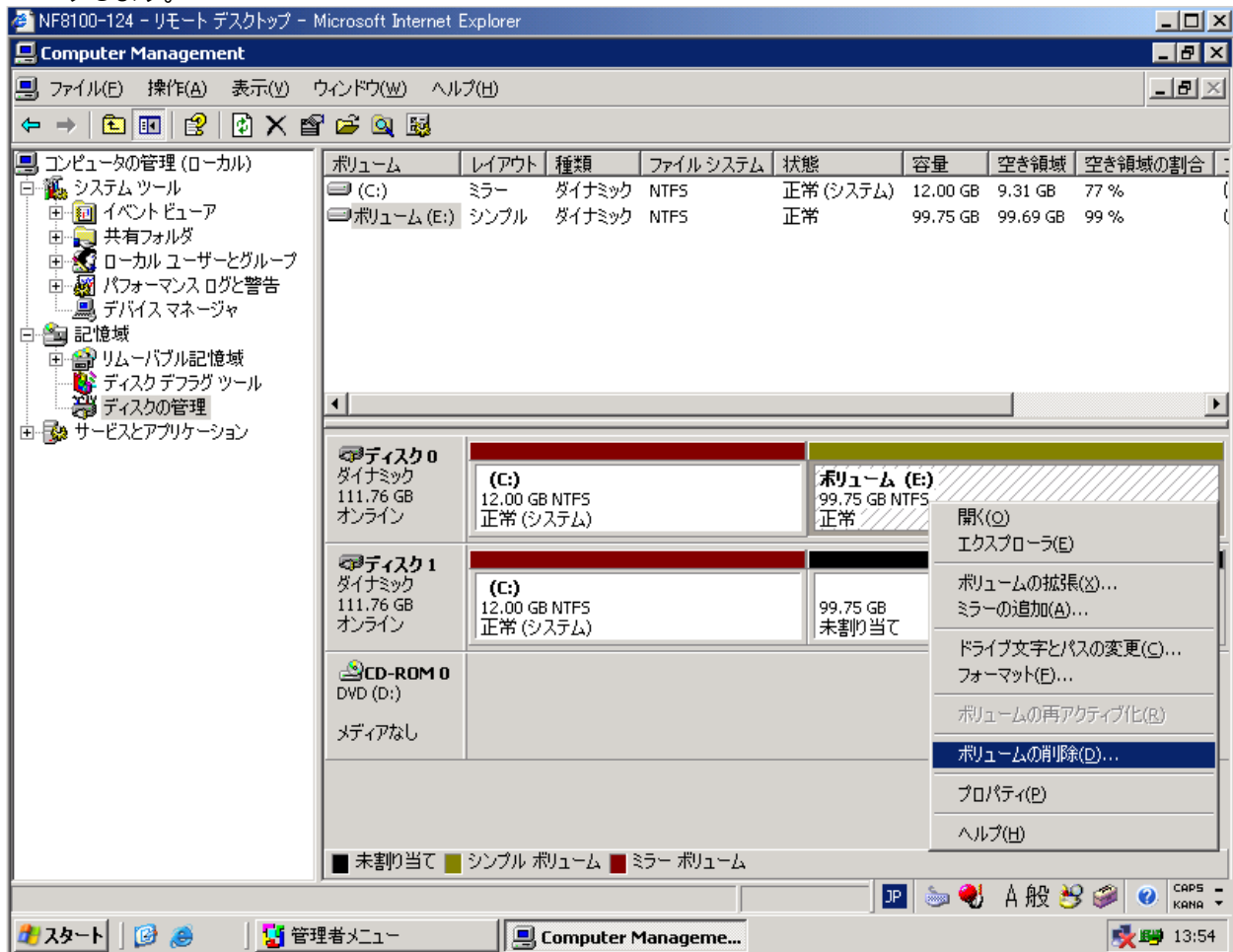


9. 【ミラーの削除】ダイアログボックスでディスク1を選択し、【ミラーの削除】ボタンをクリックします。



10. 【ディスクの管理】ダイアログボックスで【はい】ボタンをクリックします。

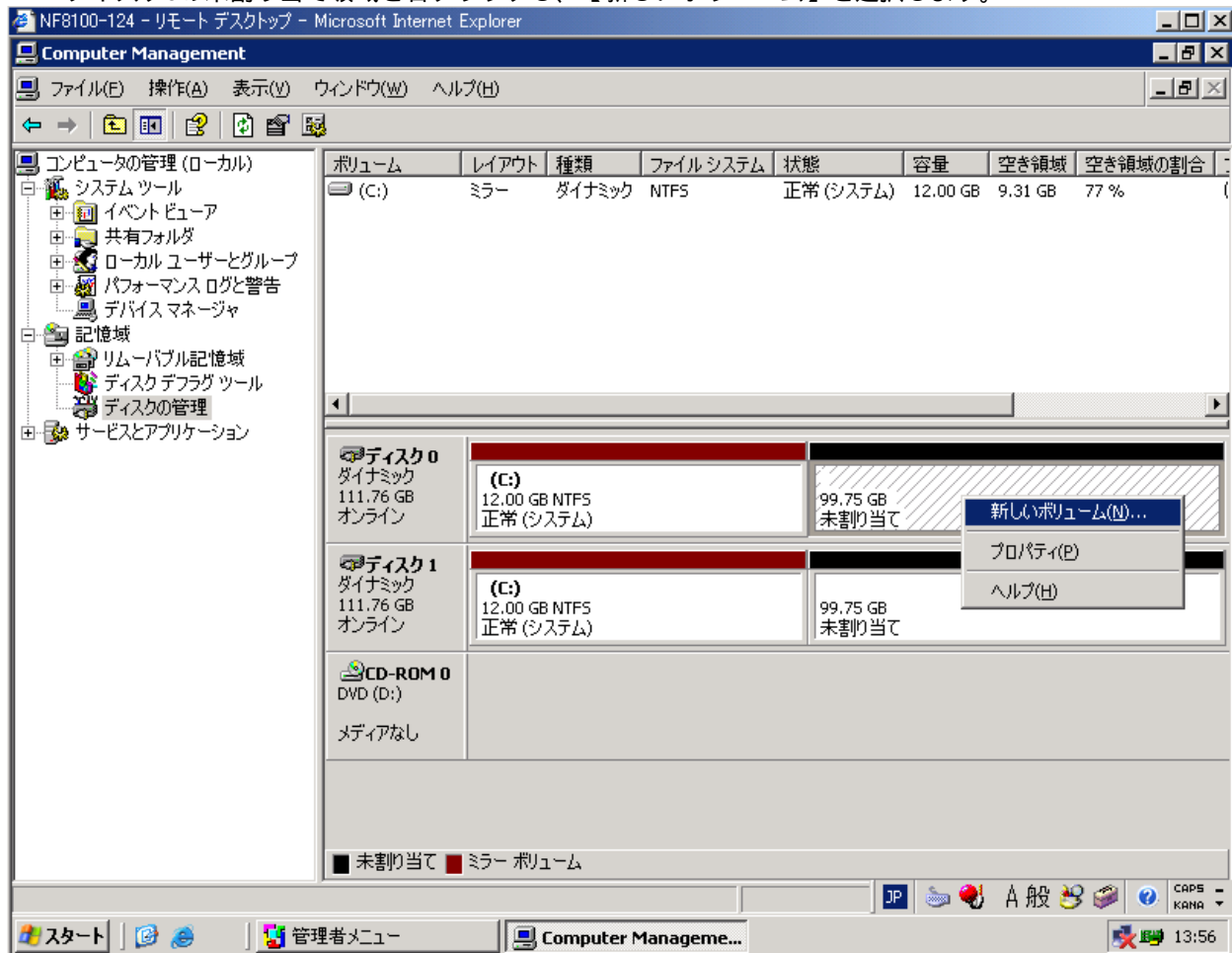
11. 次に、ディスク0のボリューム (E:) を削除します。E:を右クリックし、【ボリュームの削除】をクリックします。



12. 【シンプルボリュームの削除】ダイアログボックスで【はい】ボタンをクリックします。

13. 次に、13～21の説明に従い、ストライプボリュームを作成します。

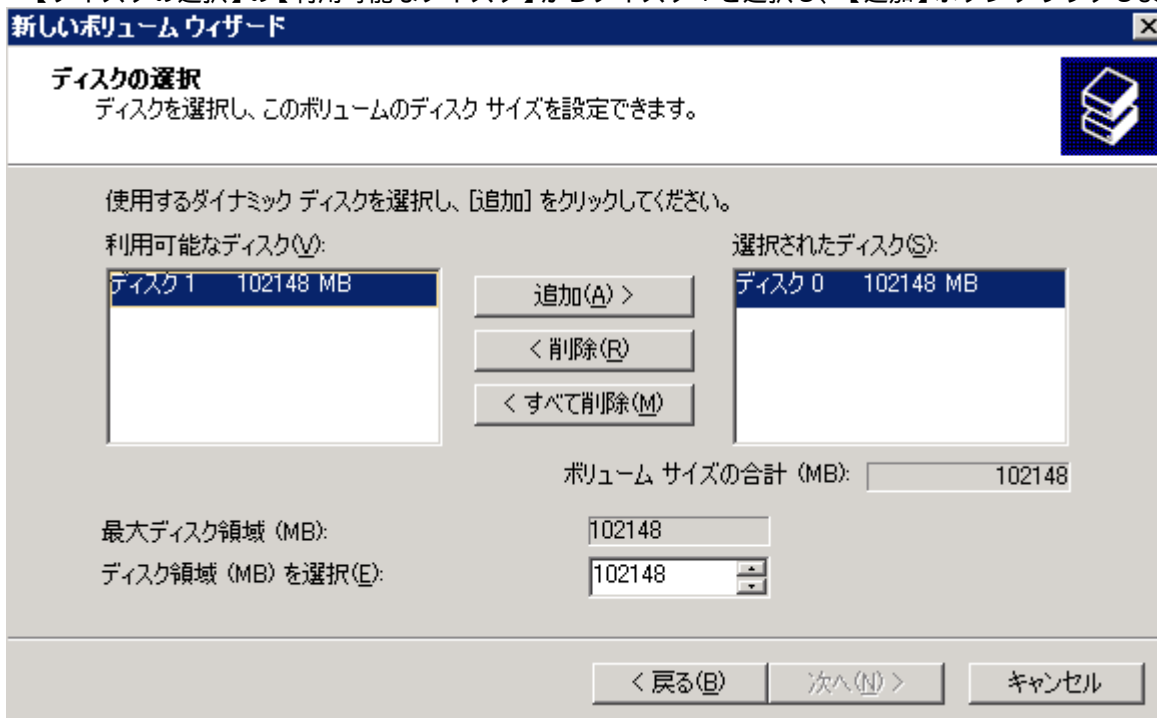
ディスク0の未割り当て領域を右クリックし、【新しいボリューム】を選択します。



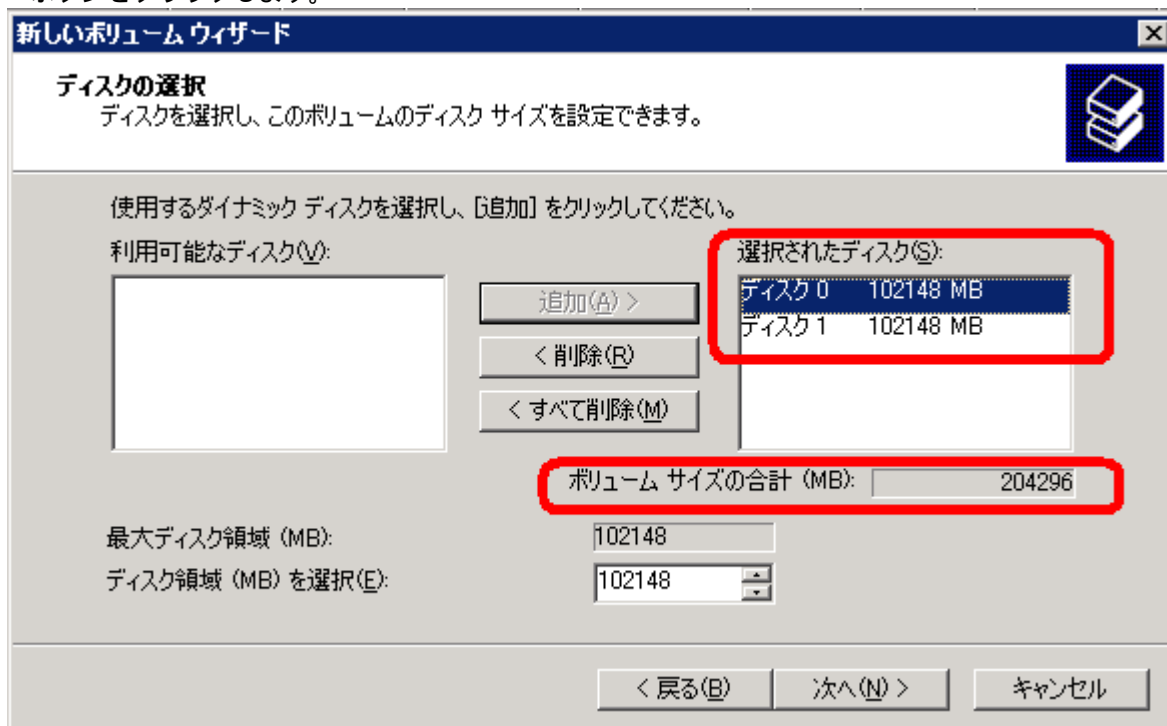
14. 【新しいボリュームウィザードの開始】で【次へ】ボタンをクリックします。

15. 【ボリュームの種類を選択】で【ストライプ】を選択し、【次へ】ボタンをクリックします。

16. 【ディスクの選択】の【利用可能なディスク】からディスク 1 を選択し、【追加】ボタンをクリックします。

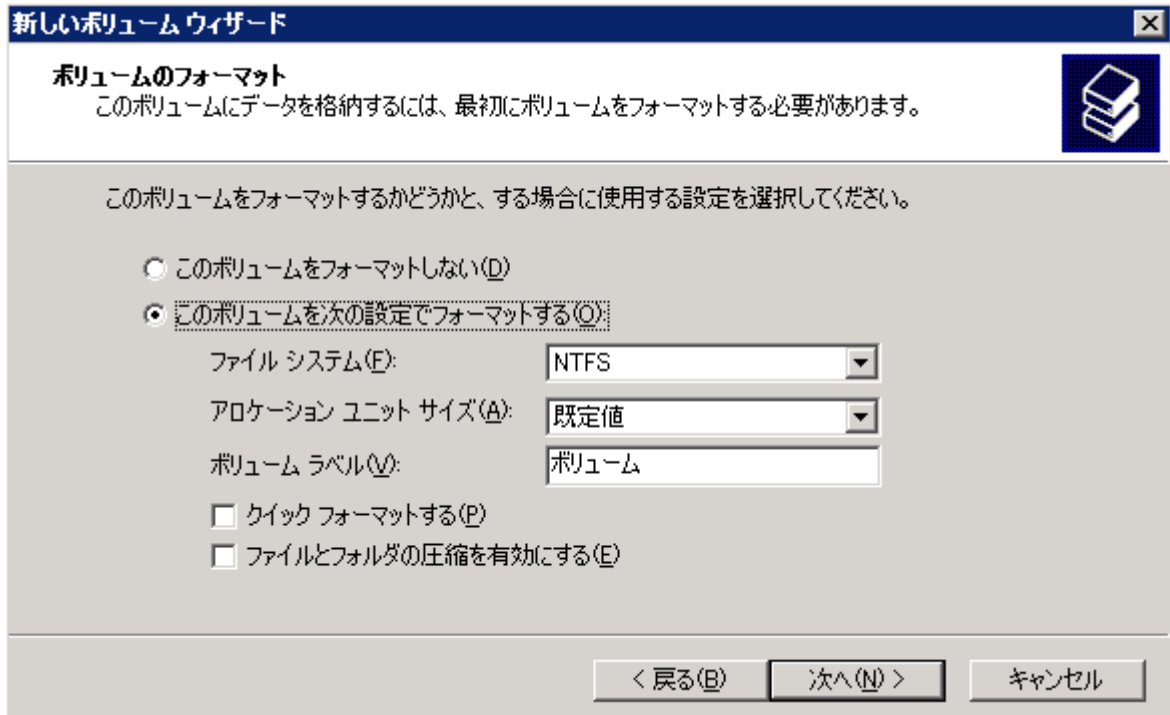


17. 次に【選択されたディスク】にディスク 0 とディスク 1 が表示されていることと、【ボリュームサイズの合計 (MB)】がディスク 0 とディスク 1 のサイズを合計したサイズになっていることを確認して【次へ】ボタンをクリックします。

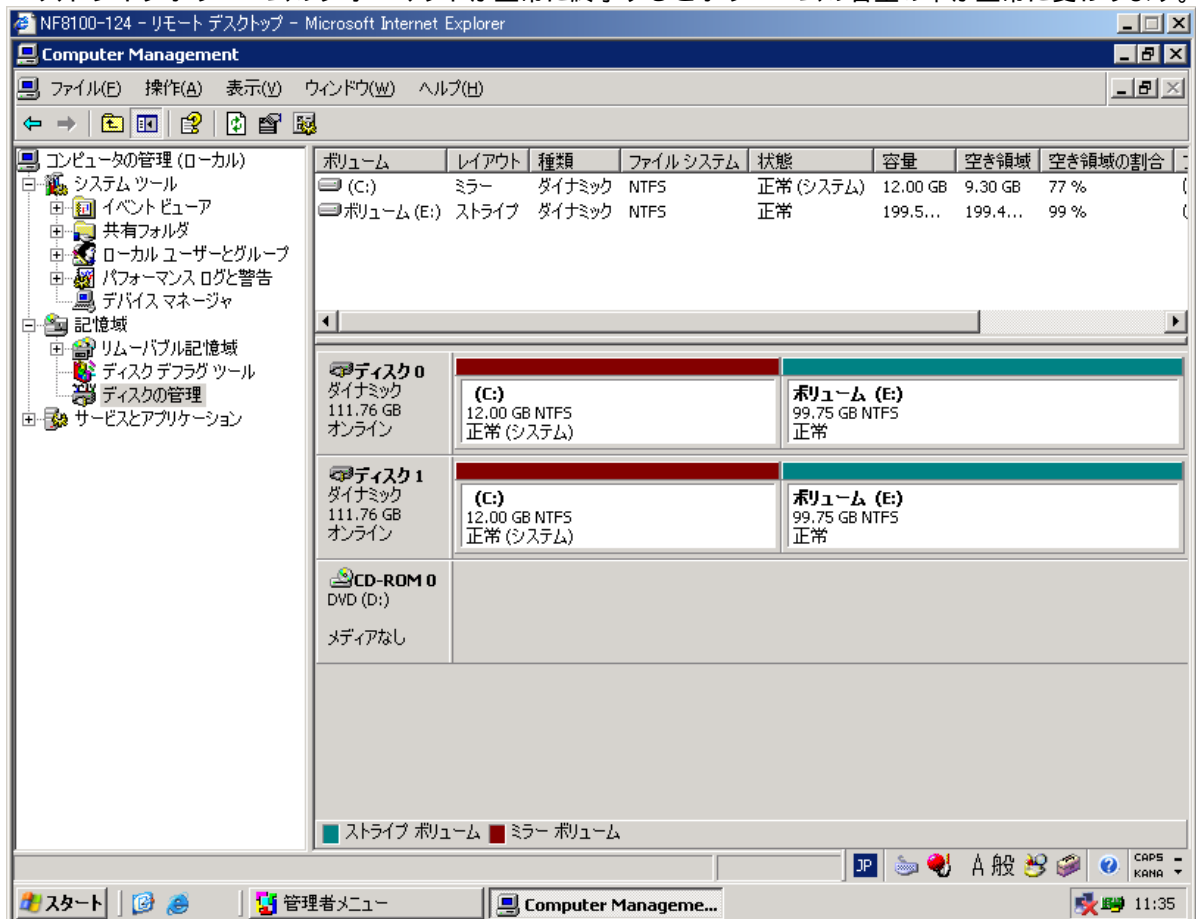


18. 【ドライブ文字またはパスの割り当て】では【次のドライブ文字を割り当てる】に【E:】が設定されていることを確認し、【次へ】ボタンをクリックします。

19. 【ボリュームのフォーマット】では既定値（下図参照）を確認して【次へ】ボタンをクリックします。



20. 【新しいボリュームウィザードの完了】で【完了】ボタンをクリックすると、ストライプボリュームのフォーマットが始まります。1時間程かかります。
21. ストライプボリュームのフォーマットが正常に終了するとボリュームの容量の下が正常に変わります。



22. 最後に、1から6で削除した設定を行います。

以上で作業は終了です。WebUIを終了します。

2.3 ストライプボリュームからミラーボリュームへ変更

2.3.1 ストライプボリュームからミラーボリュームへの変更時の注意

前章の「ストライプボリュームへ変更」に基づいて作成した状態での説明を行っています。このため、環境を変更されている場合は、一部異なる場合があります。

また、本作業は2時間半程度を要します。この作業時間のほとんどがミラーボリューム作成のためのフォーマットに要する時間です。

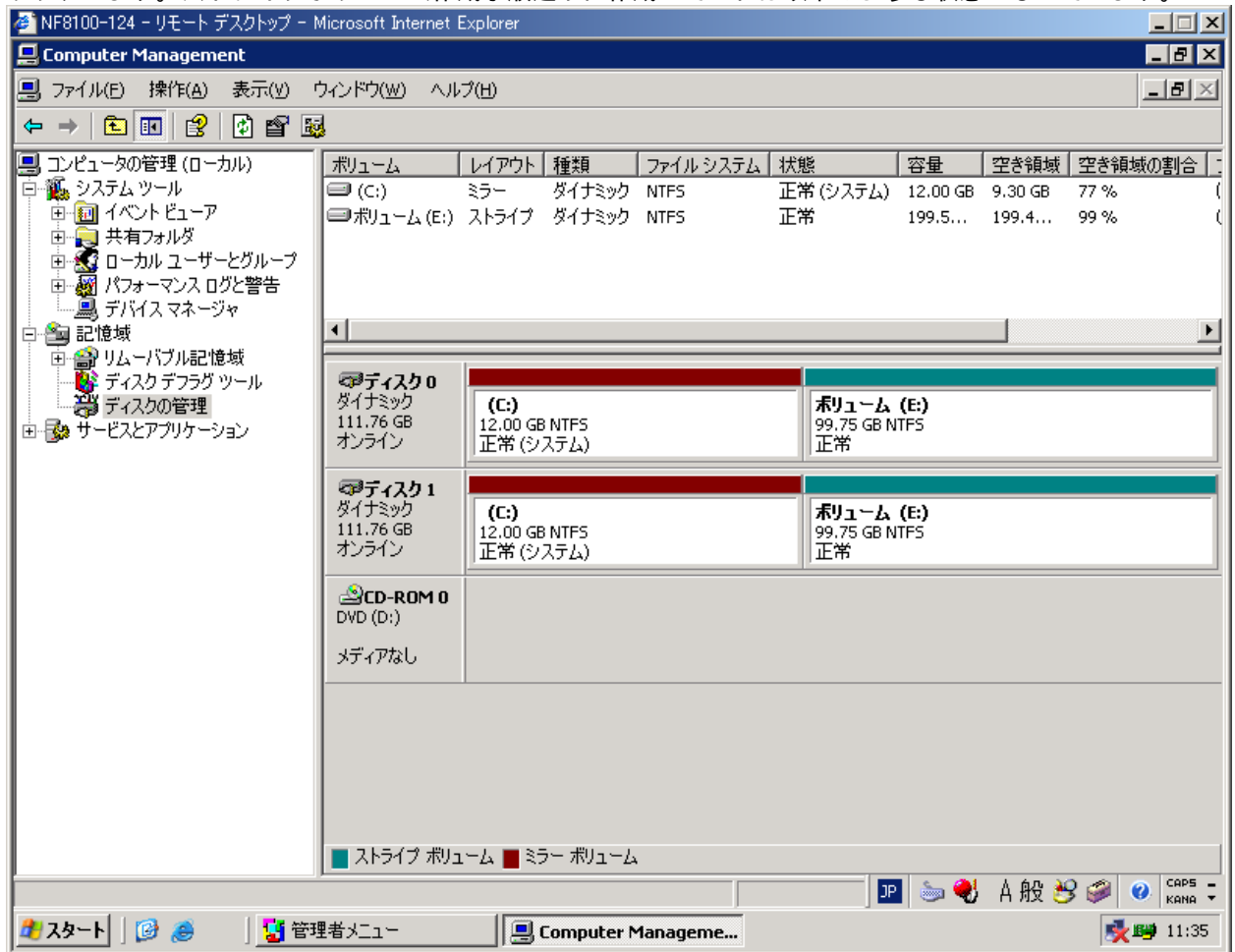
必要なデータがiStorage NSのデータ領域にある場合には、以下の作業を開始される前にバックアップを行ってください。バックアップの方法はバックアップソフトのマニュアルを参照してください。

2.3.2 ストライプボリュームからミラーボリュームへ変更

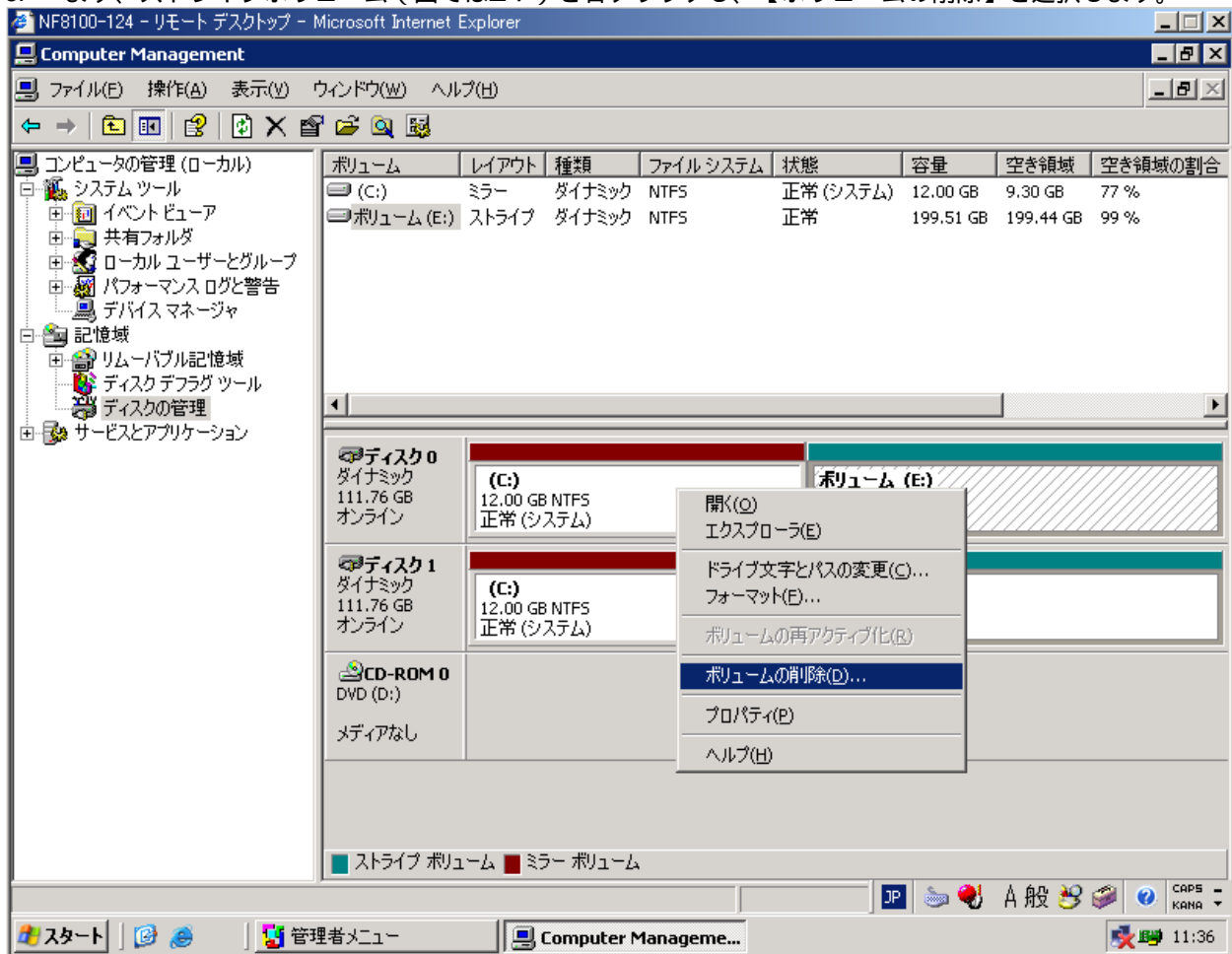
1. クライアントマシンにてブラウザを起動し、iStorage NSの管理コンソール(WebUI)を開きます。詳細はユーザーズガイドを参照してください。
2. iStorage NSでローカルDFSルートまたはドメインDFSルートの設定を設定している場合は削除します。WebUIの[共有] [共有プロトコル] [DFS]を開きます。[ローカルのDFSルート]タブをクリックし、[ルートの削除]ボタンをクリックしてOKをクリックします。DFSの設定をリモートデスクトップから行っている場合は、WebUIの[メンテナンス] [リモートデスクトップ]を選択して、Administrator 権限を持つユーザーでログオンします。表示される管理者メニューから[分散ファイルシステム]を開き、ルートの削除を行ってください。
3. iStorage NSでの共有をすべて削除します。WebUIの[共有] [共有] を開き、表示されるフォルダの共有を全て削除します。
4. iStorage NSでのシャドウコピーのスケジュールをすべて削除します。WebUIの[ディスク] [シャドウコピー]を開き、ボリュームを選択して[スケジュールの設定]を開き、表示されるシャドウコピーのスケジュールをすべて削除します。
5. iStorage NSでのシャドウコピーをすべて削除します。WebUIの[ディスク] [シャドウコピー]を開き、ボリュームを選択して[シャドウコピーの表示]を開き、表示されるシャドウコピーをすべて削除します。
6. iStorage NSでの最適化のスケジュールを削除します。WebUIの[ディスク] [ボリューム]を開き、ボリュームを選択して[最適化のスケジュール]をクリックします。[このボリュームの最適化のスケジュール]チェックボックスのチェックをはずします。

7. 7～10の説明に従い、iStorage NSでのストライプボリュームを削除します。

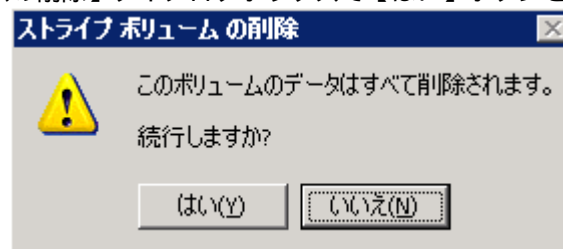
WebUIの[メンテナンス] [リモートデスクトップ] を選択し、Administrator 権限を持つユーザーでログインします。管理者メニューから【コンピュータの管理】を開き、ツリータブの【ディスクの管理】をクリックします。ストライプボリューム作成手順通りに作成していれば以下のような状態となっています。



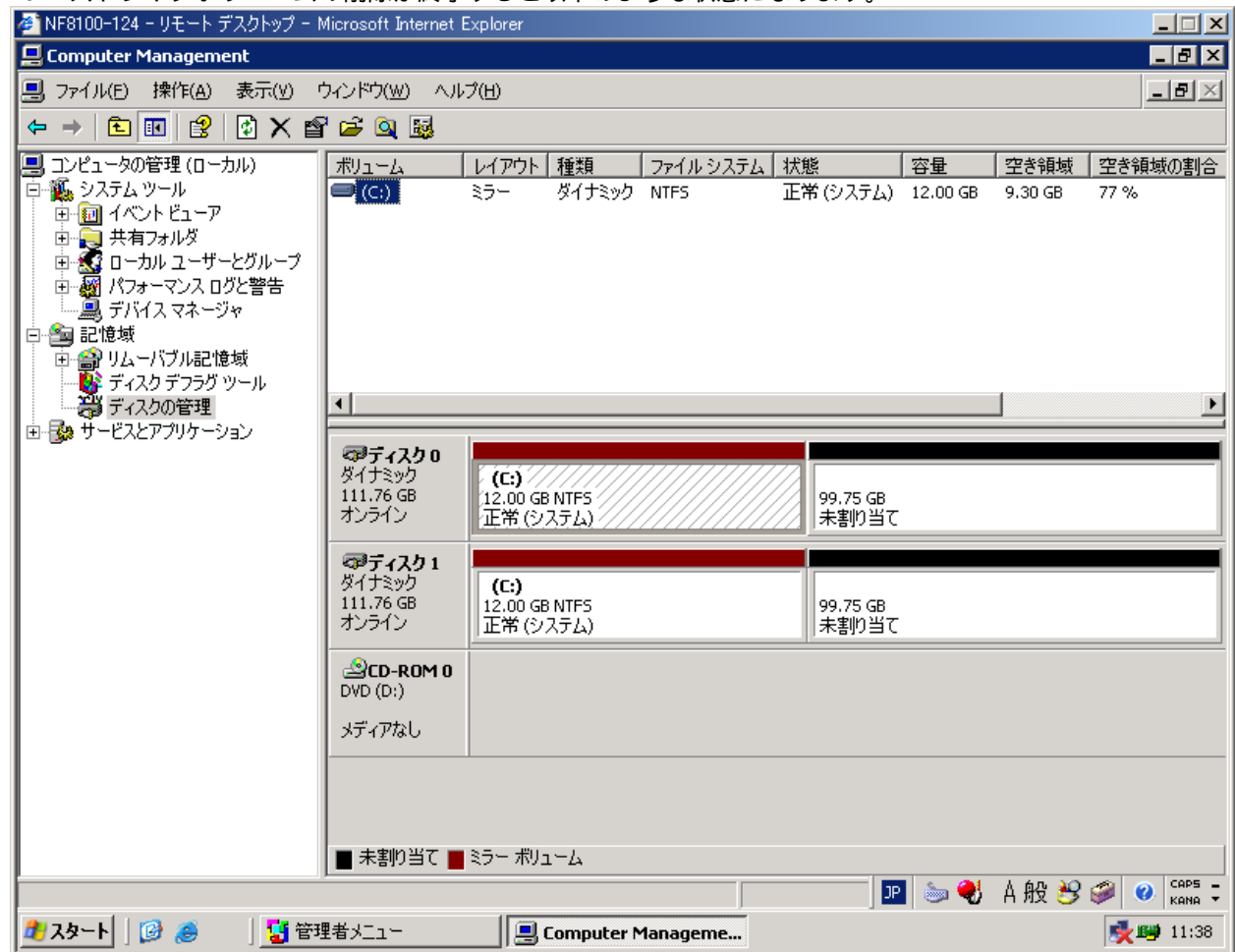
8. まず、ストライプボリューム（図ではE:）を右クリックし、【ボリュームの削除】を選択します。



9. 【ストライプボリュームの削除】ダイアログボックスで【はい】ボタンをクリックします。

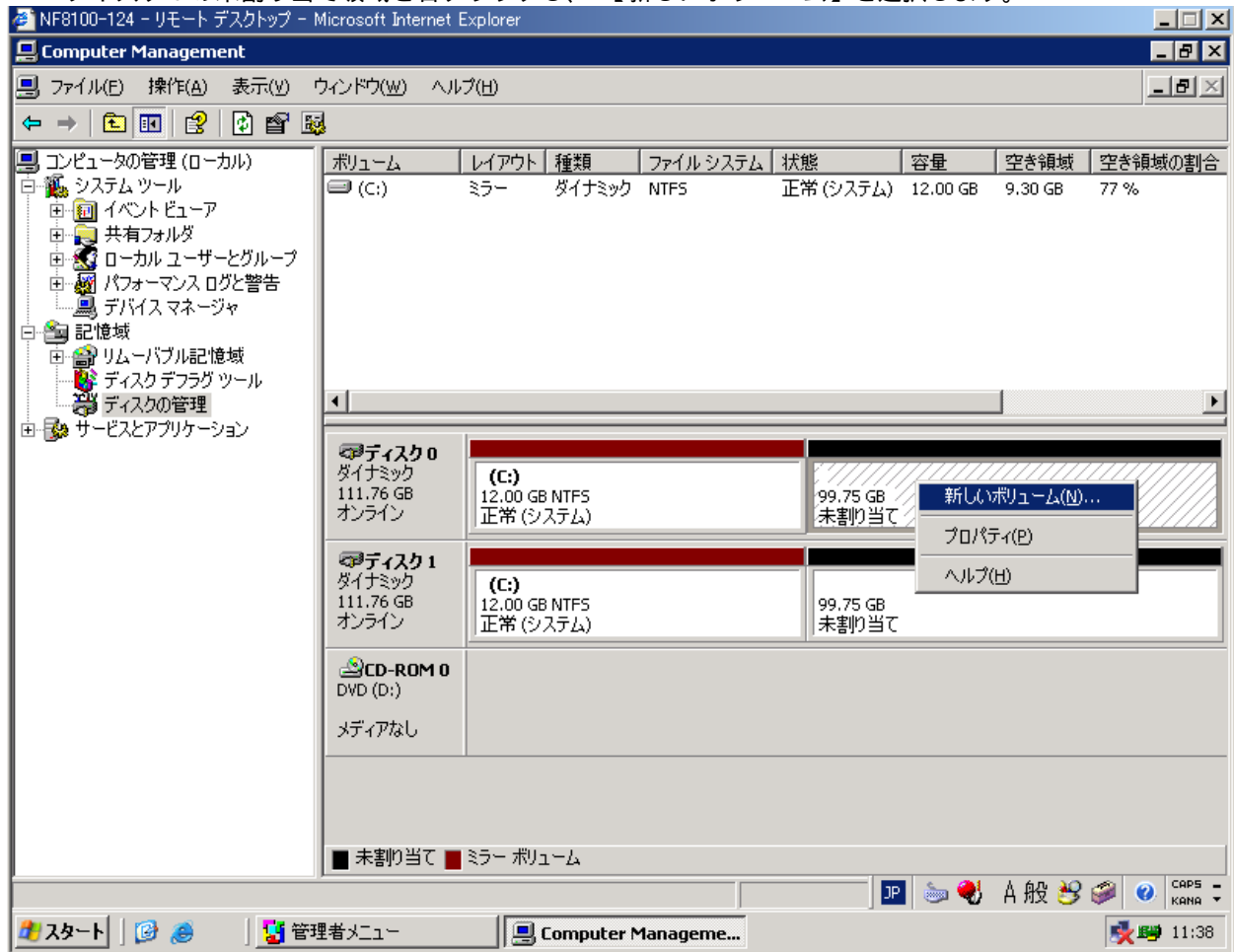


10. ストライプボリュームの削除が終了すると以下のような状態になります。



11. 11～19の説明に従い、ミラーボリュームを作成します。

ディスク0の未割り当て領域を右クリックし、【新しいボリューム】を選択します。



12. 【新しいボリュームウィザードの開始】で【次へ】ボタンをクリックします。

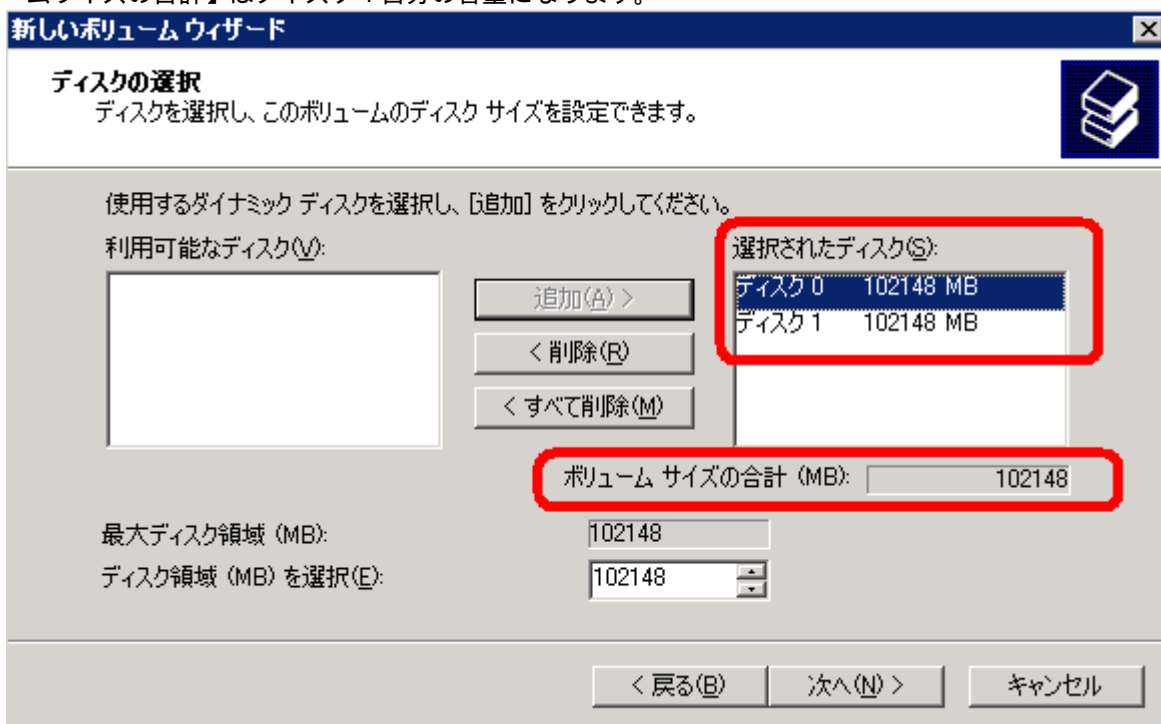
13. 【ボリュームの種類を選択】で【ミラー】を選択し、【次へ】ボタンをクリックします。

The screenshot shows a window titled '新しいボリューム ウィザード' (New Volume Wizard) with a close button in the top right. The main title is 'ボリュームの種類を選択' (Volume Type Selection). Below the title, it says 'ボリュームには次の 5 つの種類があります: シンプル、スパン、ストライプ、ミラー、RAID-5。' (There are 5 types of volumes: Simple, Span, Stripe, Mirror, RAID-5). A list of radio buttons allows selection of the volume type: 'シンプル(S)', 'ミラー(M)', 'スパン(A)', 'RAID-5(R)', and 'ストライプ(T)'. The 'ミラー(M)' option is selected. Below the list is a '説明' (Description) box containing the text: 'ミラー ボリュームはユーザーのデータを 2 つのダイナミック ディスクに複製します。データの損失を防ぐためにすべての情報のコピーを 2 つ別に欲しい場合にミラー ボリュームを作成します。' (Mirror volumes duplicate user data on two dynamic disks. Mirror volumes are created when you want copies of all information on two separate disks to prevent data loss). At the bottom, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel).

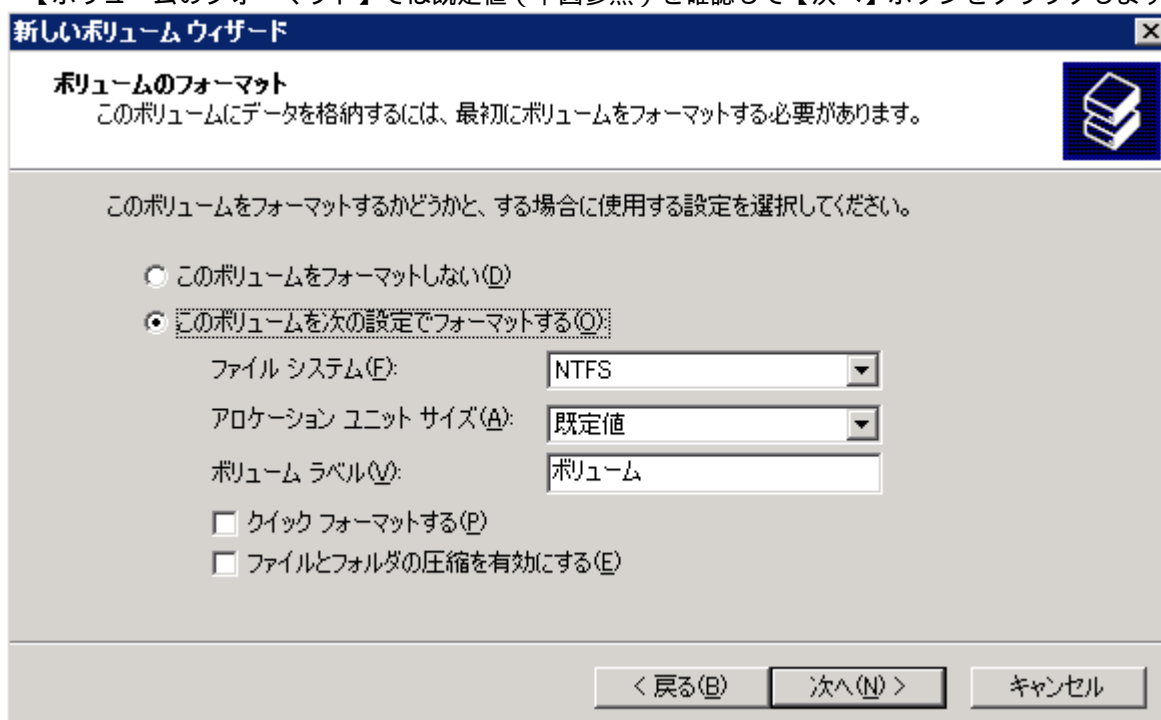
14. 【ディスクの選択】の【利用可能なディスク】からディスク 1 を選択し、【追加】ボタンをクリックします。

The screenshot shows a window titled '新しいボリューム ウィザード' (New Volume Wizard) with a close button in the top right. The main title is 'ディスクの選択' (Disk Selection). Below the title, it says 'ディスクを選択し、このボリュームのディスク サイズを設定できます。' (Select a disk and you can set the disk size for this volume). The instruction reads: '使用するダイナミック ディスクを選択し、[追加] をクリックしてください。' (Select a dynamic disk to use and click [Add]). There are two list boxes: '利用可能なディスク(U):' (Available disks) containing 'ディスク 1 102148 MB' and '選択されたディスク(S):' (Selected disks) containing 'ディスク 0 102148 MB'. Between the list boxes are three buttons: '追加(A) >' (Add), '< 削除(R)' (Remove), and '< すべて削除(M)' (Remove all). Below the list boxes is a text field for 'ボリューム サイズの合計 (MB):' (Total volume size) with the value '102148'. At the bottom, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel).

15. 次に【選択されたディスク】にディスク 0 とディスク 1 が表示されていることを確認します。【ボリュームサイズの合計】はディスク 1 台分の容量になります。



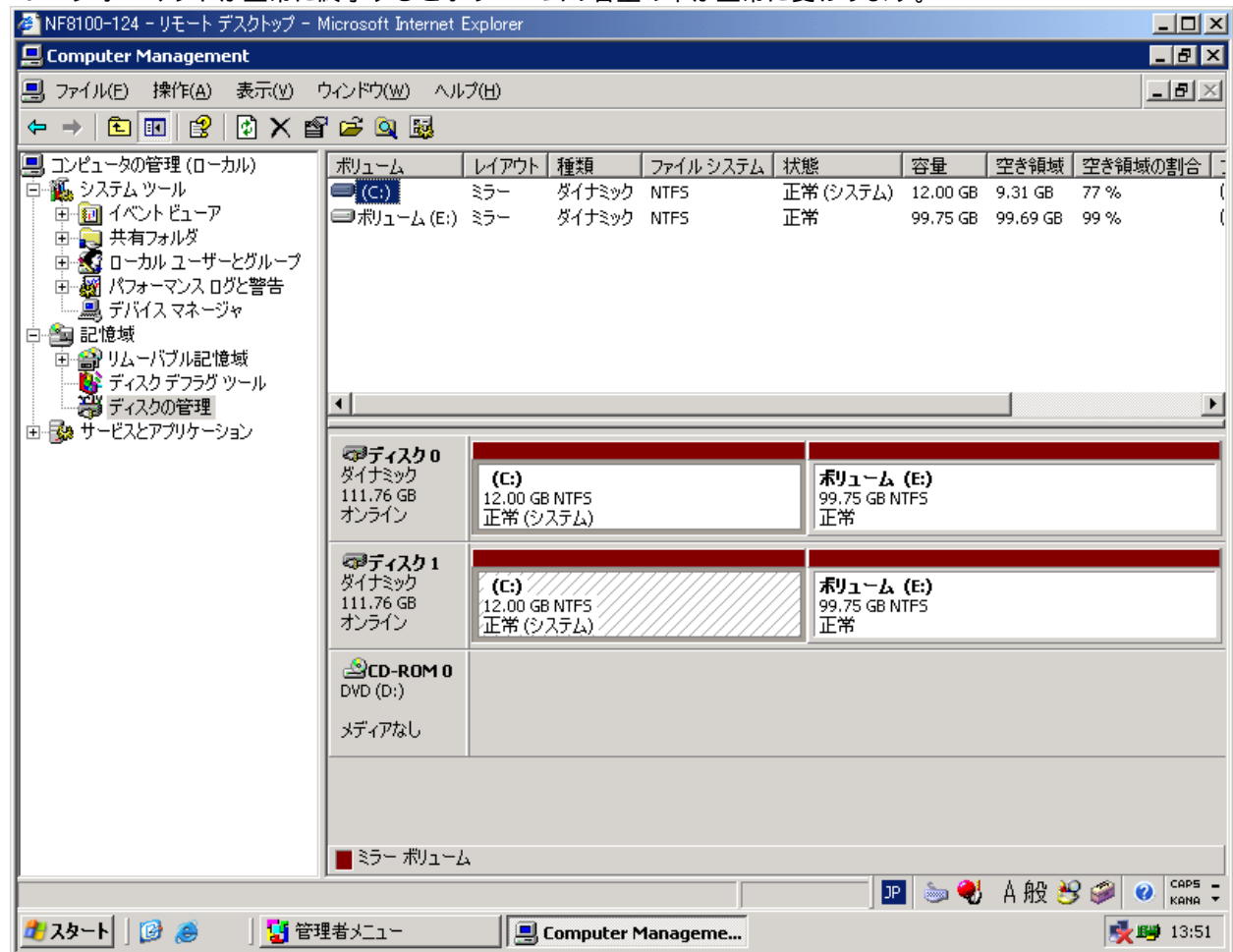
16. 【ドライブ文字またはパスの割り当て】では【次のドライブ文字を割り当てる】に【E:】が設定されていることを確認し、【次へ】ボタンをクリックします。
17. 【ボリュームのフォーマット】では既定値（下図参照）を確認して【次へ】ボタンをクリックします。



18. 【新しいボリュームウィザードの完了】で【完了】ボタンをクリックすると、ミラーボリュームのフォー

マットが始まります。約 2 時間30分程かかります。

19. フォーマットが正常に終了するとボリュームの容量の下が正常に変わります。



20. 最後に、1 ~ 6 で削除した設定を行います。

以上で作業は終了です。WebUIを終了します。

2.4 シンプルボリュームへ変更

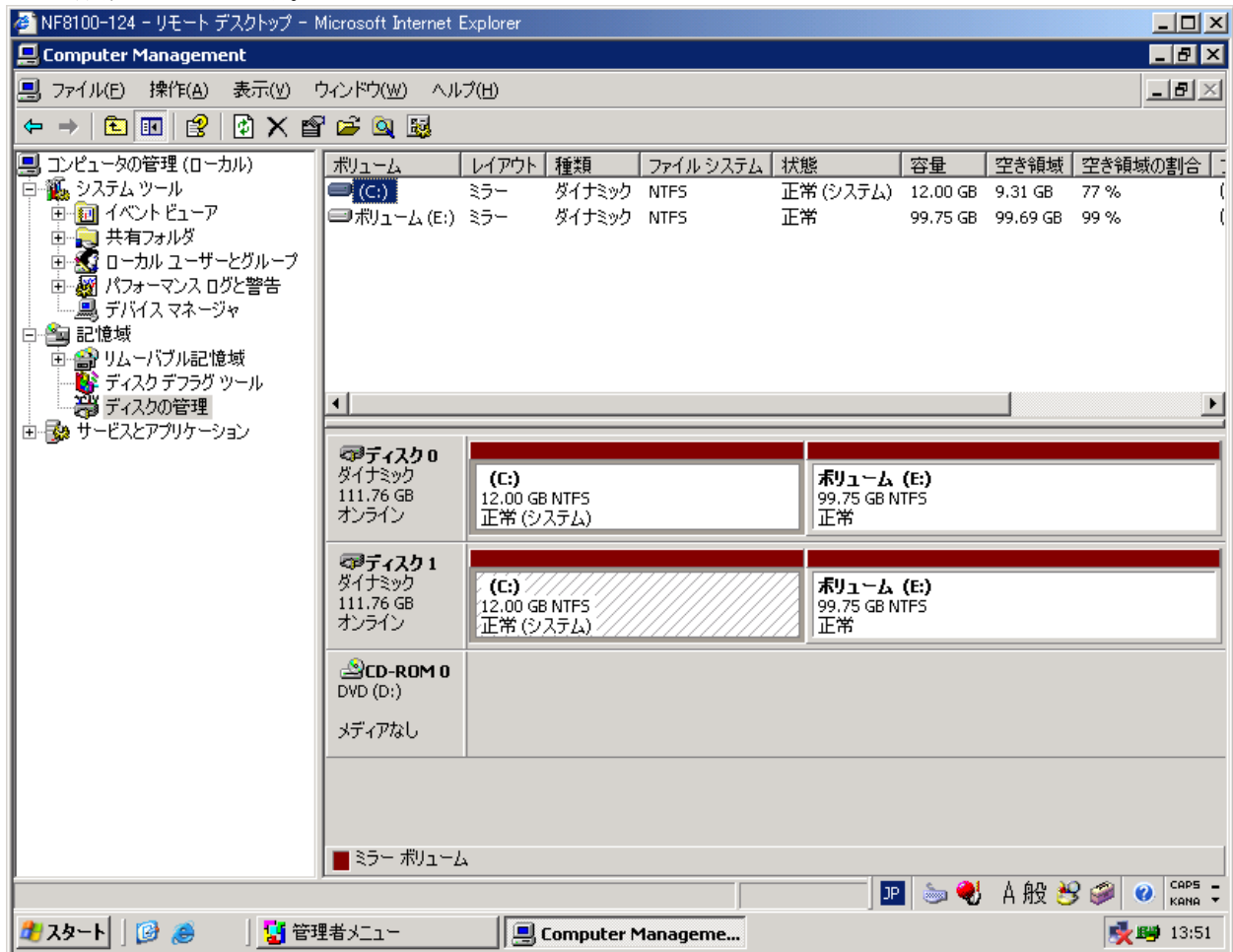
2.4.1 シンプルボリュームへの変更時の注意

工場出荷状態での説明を行っています。このため、環境を変更されている場合等、一部異なる場合があります。シンプルボリュームへの変更の手順は短時間で完了します。

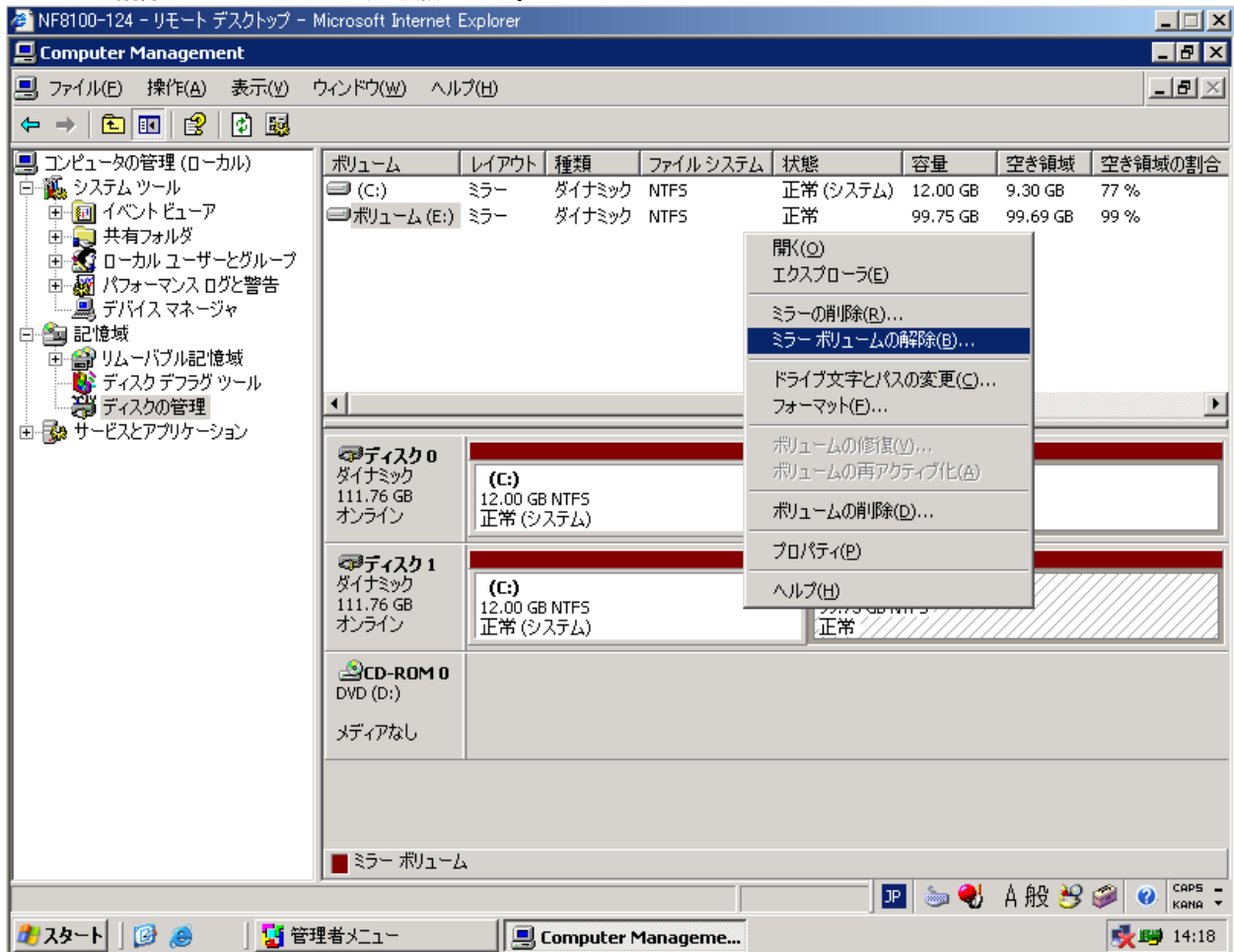
2.4.2 シンプルボリュームへ変更

1. クライアントマシンにてブラウザを起動し、iStorage NSの管理コンソール(WebUI)を開きます。詳細はユーザーズガイドを参照してください。
2. iStorage NSでローカルDFSルートまたはドメインDFSルートを設定している場合は削除します。WebUIの[共有] [共有プロトコル] [DFS]を開きます。[ローカルのDFSルート]タブをクリックし、[ルートの削除]ボタンをクリックしてOKをクリックします。DFSの設定をリモートデスクトップから行っている場合は、WebUIの[メンテナンス] [リモートデスクトップ]を選択して、Administrator 権限を持つユーザーでログオンします。表示される管理者メニューから[分散ファイルシステム]を開き、ルートの削除を行ってください。
3. iStorage NSでの共有をすべて削除します。WebUIの[共有] [共有]を開き、表示されるフォルダの共有を全て削除します。
4. iStorage NSでのシャドウコピーのスケジュールをすべて削除します。WebUIの[ディスク] [シャドウコピー]を開き、ボリュームを選択して[スケジュールの設定]をクリックし、表示されるシャドウコピーのスケジュールをすべて削除します。
5. iStorage NSでのシャドウコピーをすべて削除します。WebUIの[ディスク] [シャドウコピー]を開き、ボリュームを選択して表示されるシャドウコピーをすべて削除します。
6. iStorage NSでの最適化のスケジュールをすべて解除します。WebUIの[ディスク] [ボリューム]を開き、ボリュームを選択して[最適化のスケジュール]をクリックします。[このボリュームの最適化をスケジュール]チェックボックスのチェックをはずし、[OK]をクリックします。

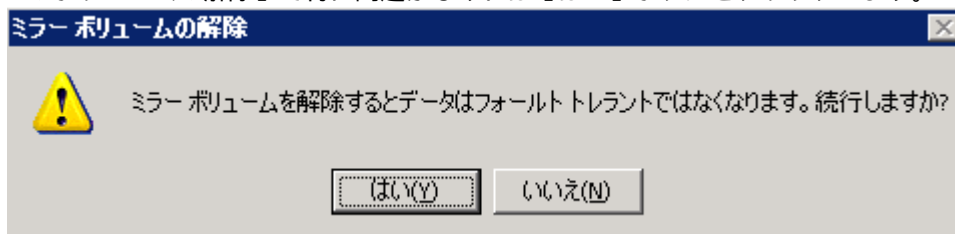
7. 7～10の説明に従い、iStorage NSでのデータ領域のミラーボリュームを解除します。
 WebUIの[メンテナンス] [リモートデスクトップ] を選択し、Administrator 権限を持つユーザーでログインします。管理者メニューから【コンピュータの管理】を開き、ツリータブの【ディスクの管理】をクリックします。工場出荷時では以下のように (C:) (E:) がミラーボリュームで、(E:) がデータ領域になっています。



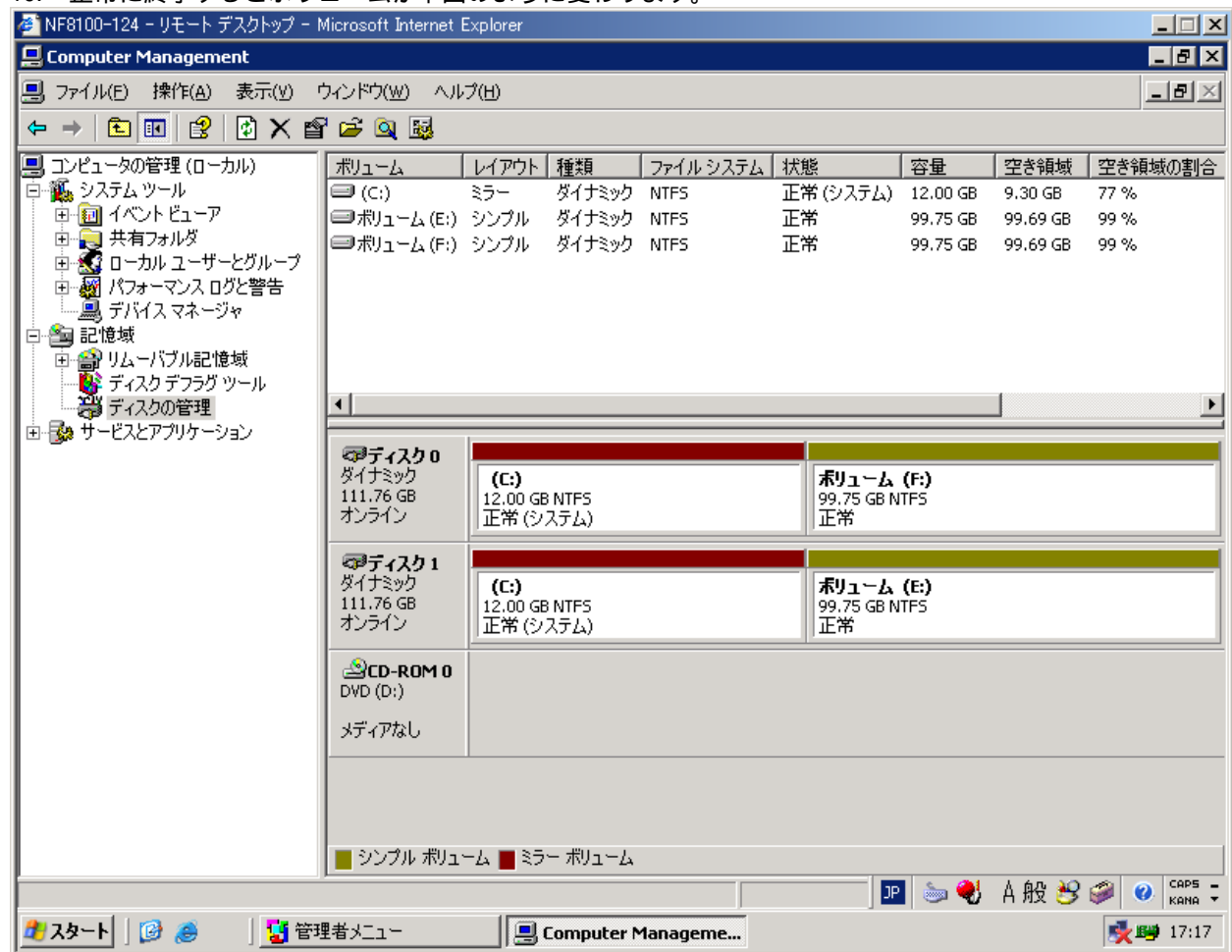
8. まず、ディスク1のボリューム (E:) を右クリックし、【ミラーボリュームの解除】を選択します。ミラーの削除ではないことにご注意願います。



9. 【ミラーのボリュームの解除】で特に問題がなければ【はい】ボタンをクリックします。



10. 正常に終了するとボリュームが下図のように変わります。



11. 最後に、1～6で削除した設定を行います。

以上で作業は終了です。WebUIを終了します。

2.5 シンプルボリュームからミラーボリュームへ変更

2.5.1 シンプルボリュームからミラーボリュームへの変更時の注意

前章の「シンプルボリュームへ変更」に基づいて作成した状態での説明を行っています。このため、環境を変更されている場合は、一部異なる場合があります。

また、本作業は2時間半程度を要します。この作業時間のほとんどがミラーボリューム作成のためのフォーマットに要する時間です。

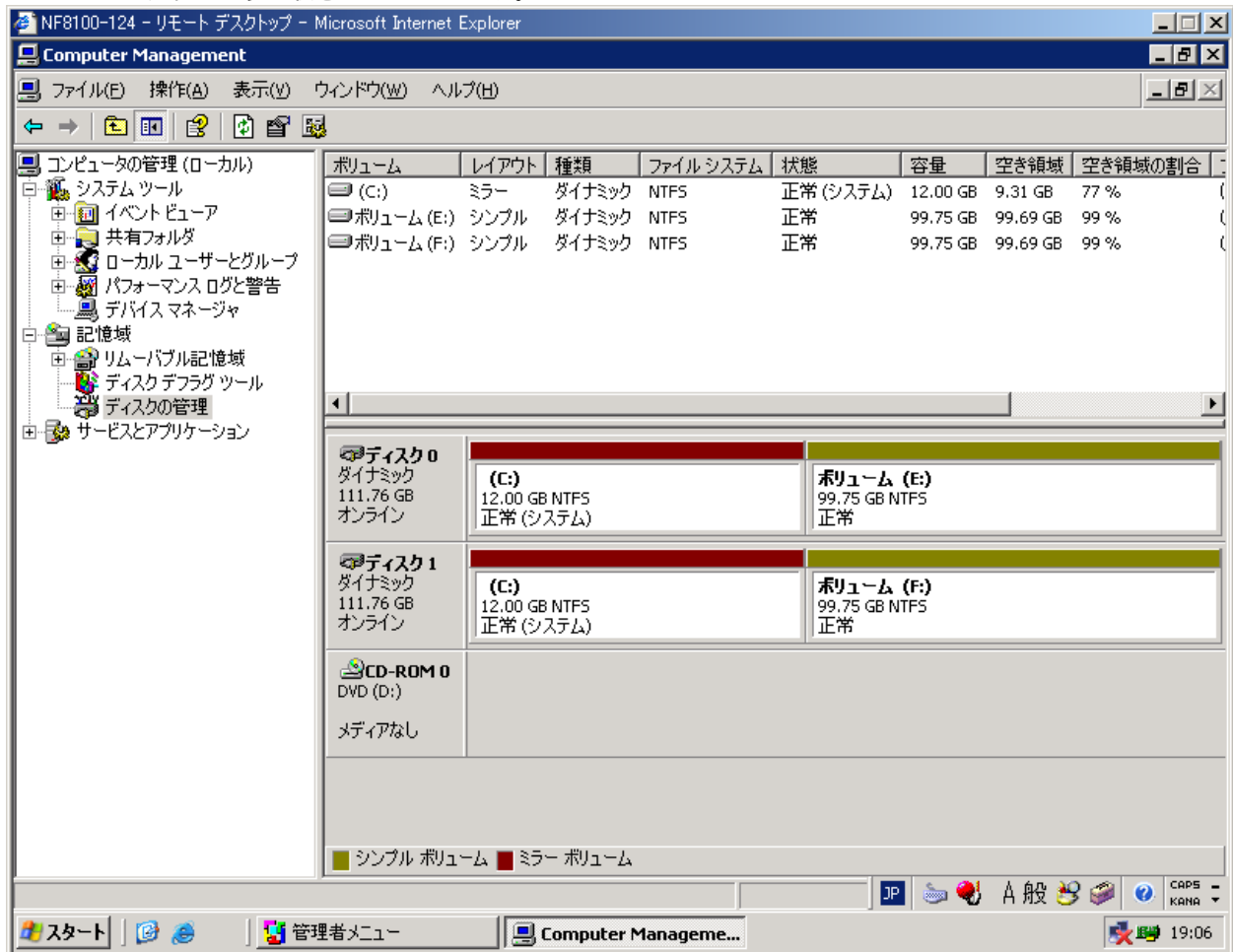
必要なデータがiStorage NSのデータ領域にある場合には、以下の作業を開始される前にバックアップを行ってください。バックアップの方法はバックアップソフトのマニュアルを参照してください。

2.5.2 シンプルボリュームからミラーボリュームへ変更

1. クライアントマシンにてブラウザを起動し、iStorage NSの管理コンソール(WebUI)を開きます。詳細はユーザーズガイドを参照してください。
2. iStorage NSでローカルDFSルートまたはドメインDFSルートを設定している場合は削除します。
WebUIの[共有] [共有プロトコル] [DFS]を開きます。[ローカルのDFSルート]タブをクリックし、[ルートの削除]ボタンをクリックしてOKをクリックします。DFSの設定をリモートデスクトップから行っている場合は、WebUIの[メンテナンス] [リモートデスクトップ]を選択して、Administrator 権限を持つユーザーでログオンします。表示される管理者メニューから[分散ファイルシステム]を開き、ルートの削除を行ってください。
3. iStorage NSでの共有をすべて削除します。
WebUIの[共有] [共有]を開き、表示されるフォルダの共有を全て削除します。
4. iStorage NSでのシャドウコピーのスケジュールをすべて削除します。
WebUIの[ディスク] [シャドウコピー]を開き、ボリュームを選択して[スケジュールの設定]を開き、表示されるシャドウコピーのスケジュールをすべて削除します。
5. iStorage NSでのシャドウコピーをすべて削除します。
WebUIの[ディスク] [シャドウコピー]を開き、ボリュームを選択して[シャドウコピーの表示]を開き、表示されるシャドウコピーをすべて削除します。
6. iStorage NSでの最適化のスケジュールを解除します。
WebUIの[ディスク] [ボリューム]を開き、ボリュームを選択して[最適化のスケジュール]をクリックし、[このボリュームの最適化をスケジュール]チェックボックスのチェックをはずして[OK]をクリックします。

7. 7～11の説明に従い、iStorage NSでのシンプルボリュームを削除します。

WebUIの[メンテナンス] [リモートデスクトップ] を選択し、Administrator 権限を持つユーザーでログインします。管理者メニューから【コンピュータの管理】を開き、ツリータブの【ディスクの管理】をクリックします。そこで、シンプルボリュームを削除します。シンプルボリューム作成手順通りに作成していれば以下のような状態となっています。



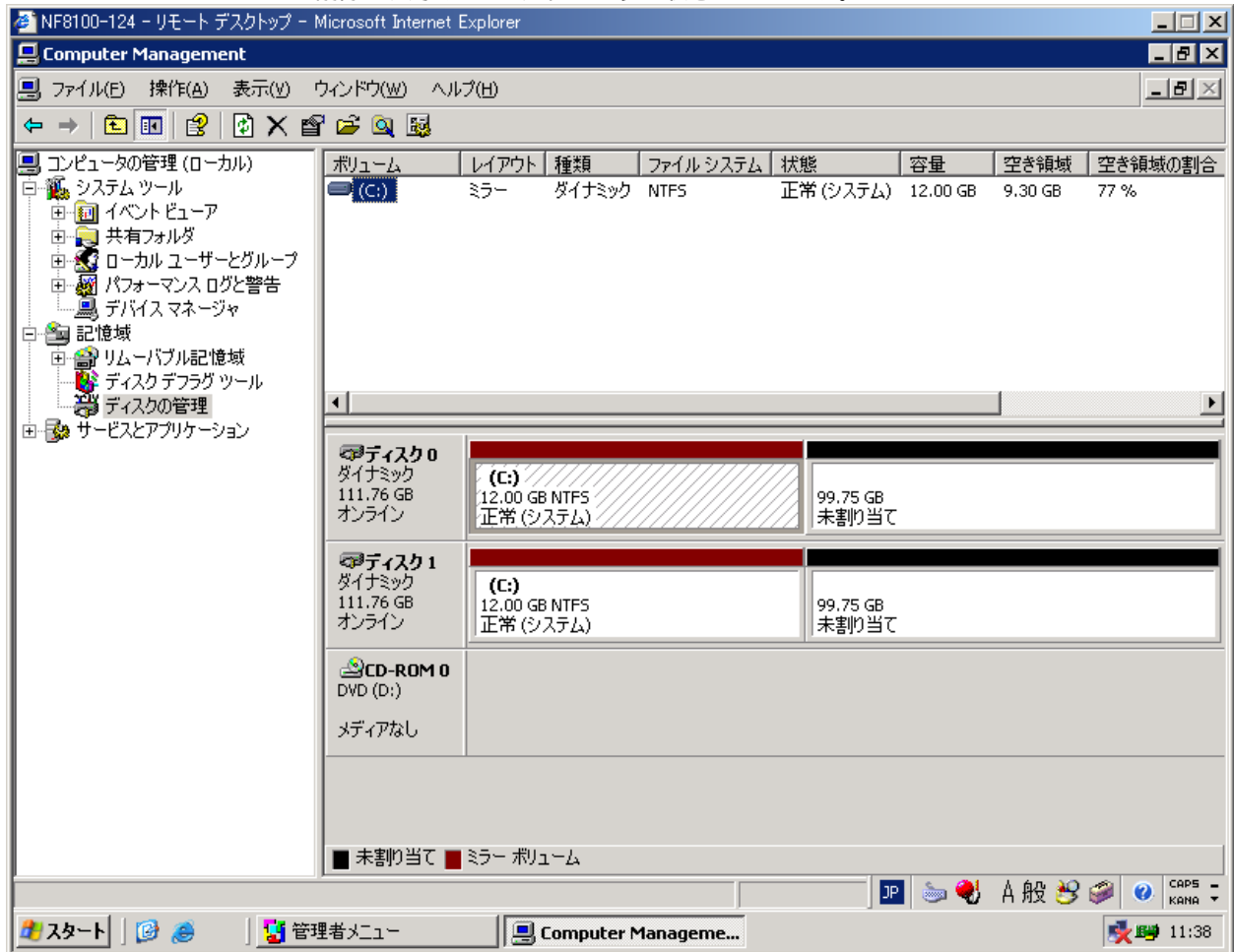
8. まず、シンプルボリューム（図ではE:）を右クリックし、【ボリュームの削除】を選択します。



9. 【シンプルボリュームの削除】ダイアログボックスで【はい】ボタンをクリックします。

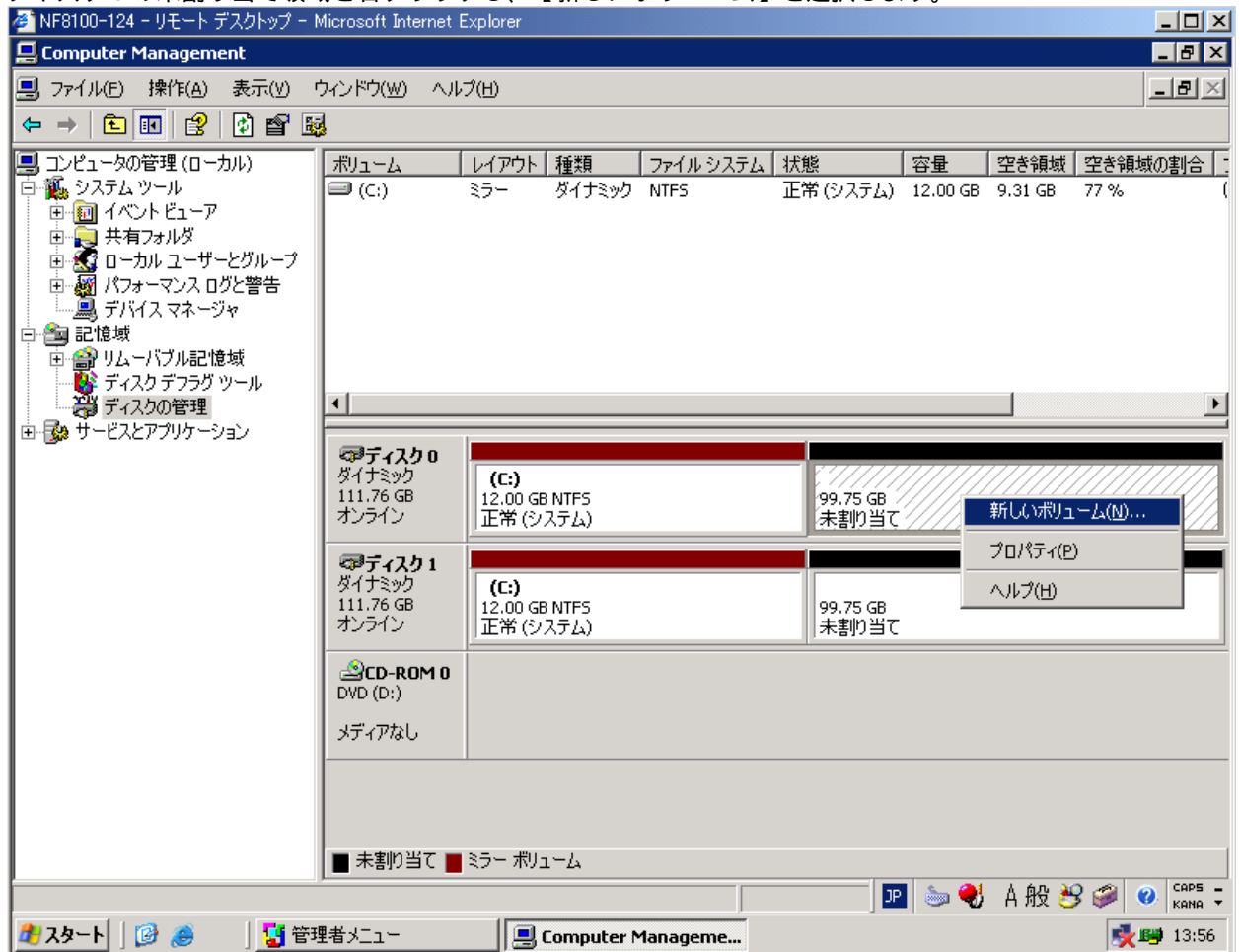
10. 8、9と同じ手順で残りのシンプルボリューム（図ではF:）を削除します。

11. シンプルボリュームの削除が終了すると以下のような状態になります。



12. 12～20の説明に従い、ミラーボリュームを作成します。

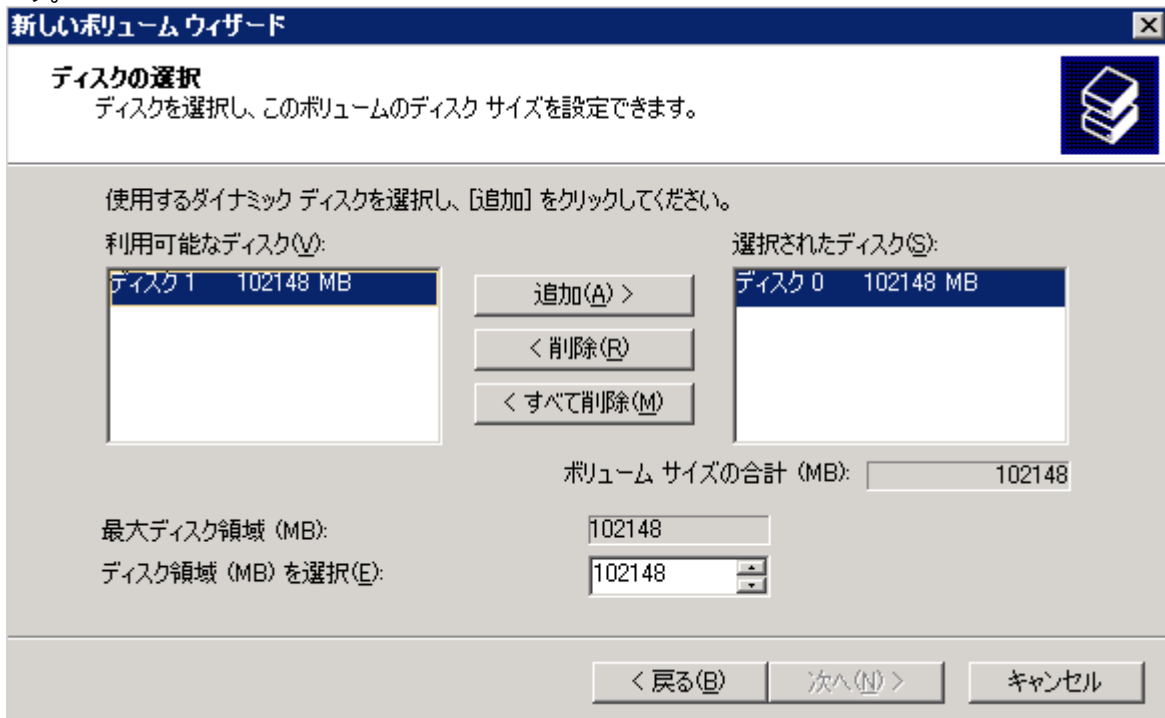
ディスク0の未割り当て領域を右クリックし、【新しいボリューム】を選択します。



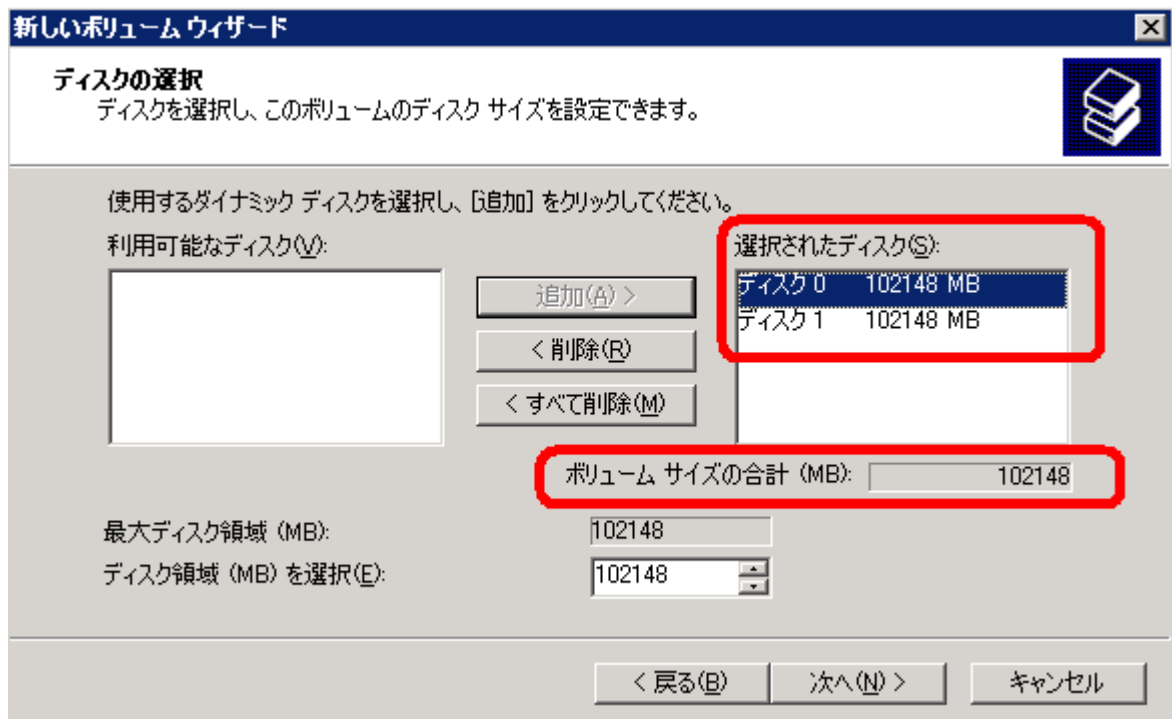
13. 【新しいボリュームウィザードの開始】で【次へ】ボタンをクリックします。

14. 【ボリュームの種類を選択】で【ミラー】を選択し、【次へ】ボタンをクリックします。

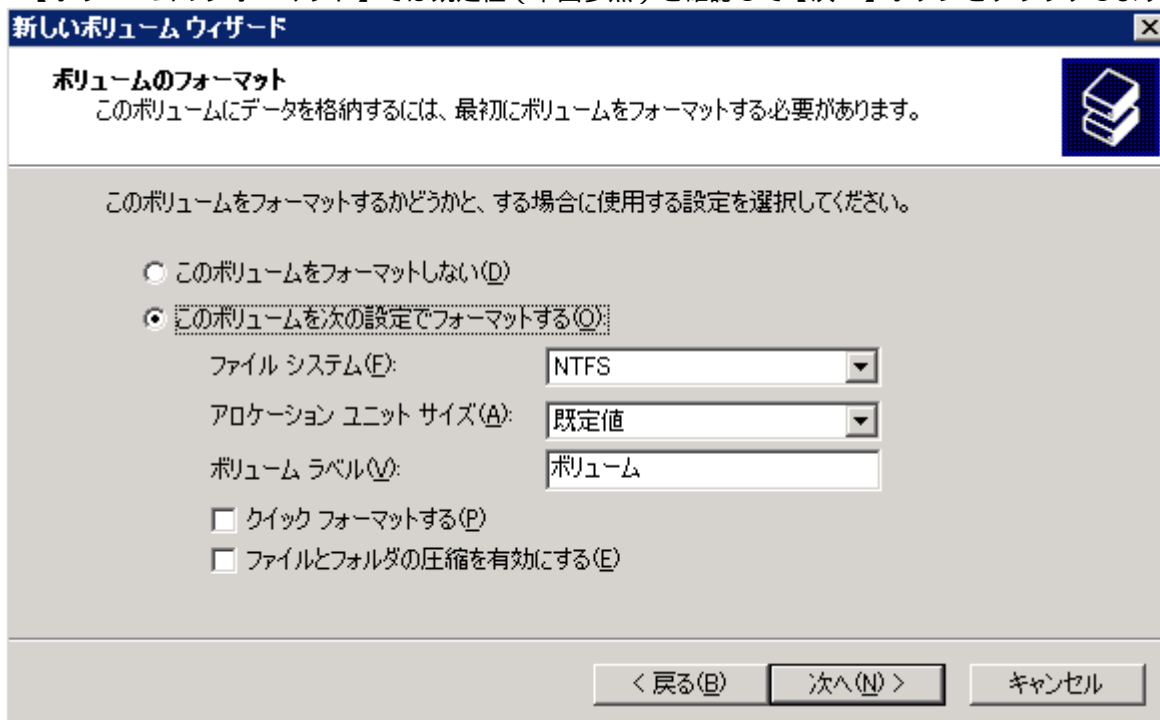
15. 【ディスクの選択】の【利用可能なディスク】からディスク 1 を選択し、【追加】ボタンをクリックします。



16. 次に【選択されたディスク】にディスク 0 とディスク 1 が表示されていることを確認します。【ボリュームサイズの合計】はディスク 1 台分の容量になります。

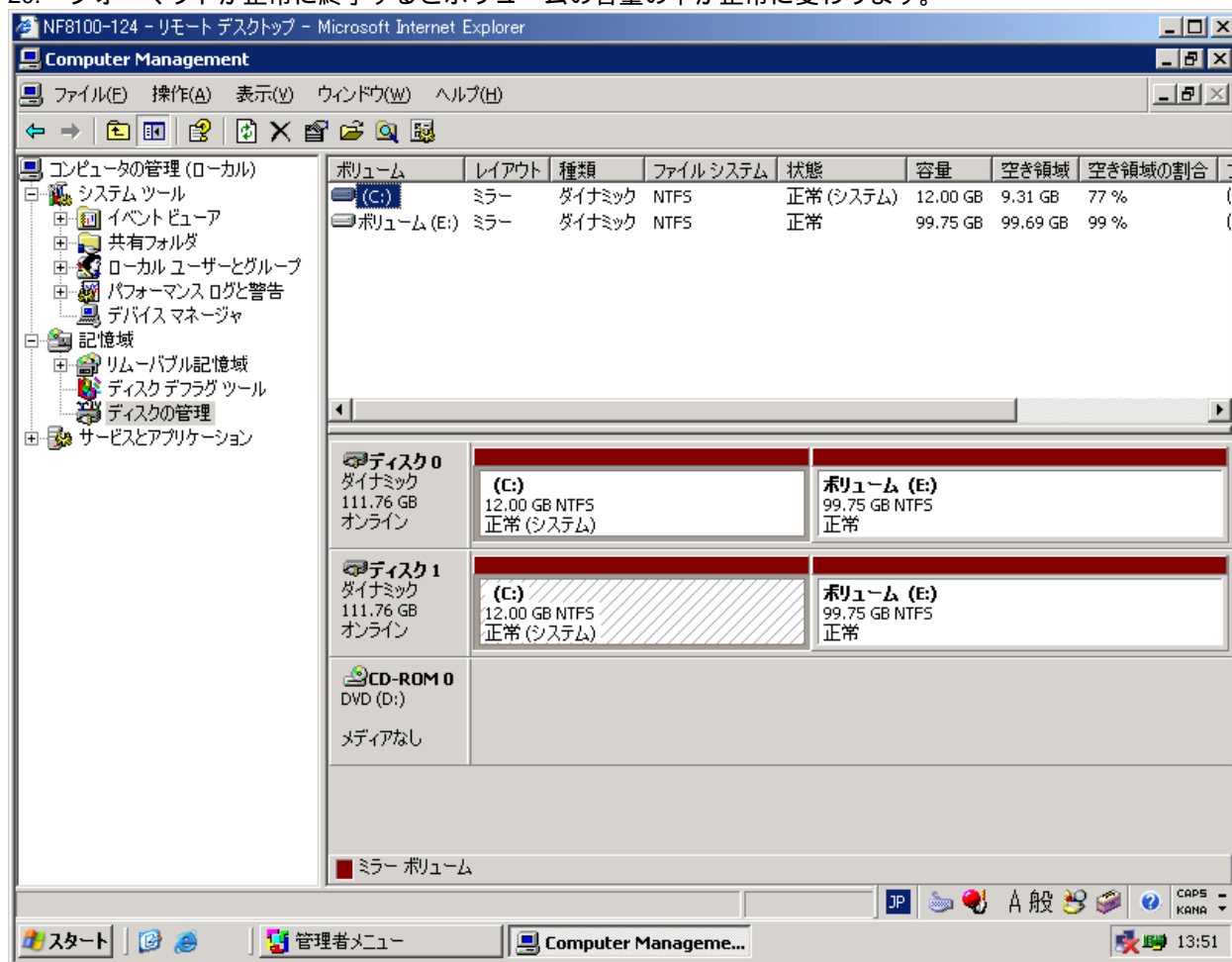


17. 【ドライブ文字またはパスの割り当て】では【ドライブ文字の割り当て】に【E:】が設定されていることを確認し、【次へ】ボタンをクリックします。
18. 【ボリュームのフォーマット】では既定値（下図参照）を確認して【次へ】ボタンをクリックします。



19. 【ボリューム作成ウィザードの完了】で【完了】ボタンをクリックすると、ミラーボリュームのフォーマットが始まります。約2時間30分程かかります。

20. フォーマットが正常に終了するとボリュームの容量の下が正常に変わります。



21. 最後に、1 ~ 6 で削除したiStorage NSでの設定を行います。

以上で作業は終了です。WebUIを終了します。

3章 注意事項

3.1 再インストールについて

再インストールの手順については以下のWebページに掲載されている再インストール手順書を参照願います。また、以下のWebページにないモデルについては装置添付のユーザーズガイドを参照願います。

<http://www.sw.nec.co.jp/products/istorage/guide/reinstall/index.shtml>
(2004年2月20日現在)